

平成 30 年度 事業報告書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

令和元年 6 月 4 日

目 次

平成 30 年度事業の主な成果指標	P 1
-------------------	-----

平成 30 年度事業報告	P 4
--------------	-----

1 【知る】情報発信

1 広報事業	《市受託事業・広域負担金事業・財団自主事業》	P 4
--------	------------------------	-----

2 【解く】相談・コンシェルジュ

2 相談事業（専門家派遣事業含む）	《市受託事業・広域負担金事業》	P 7
3 企業訪問事業	《市受託事業》	P 9
4 研究会推進事業	《事務局受託事業》	P 10

3 【興す】創業・新事業展開支援

5 創業・新事業展開支援事業	《財団自主事業》	P 13
事業承継等相談支援事業	《市受託事業》	P 13
6 債務保証事業	《財団自主事業》	P 17

4 【活かす】知財総合支援

7 知的財産活用推進事業	《市受託事業》	P 19
8 はままつ知財研究会連携事業	《事務局受託事業》	P 23
9 特許等出願支援補助事業	《市受託事業》	P 24

5 【学ぶ】人材育成支援

10 新素材・新技術講座	《広域負担金事業》	P 28
11 製造中核人材育成事業	《広域負担金事業》	P 29
12 現場力向上人材育成事業	《広域負担金事業》	P 33
13 自社製品開発事業	《広域負担金事業》	P 36

6 【創る】新事業開発支援

14 新産業創出支援事業	《市受託事業》	P 39
15 国内事業化可能性調査補助事業	《市受託事業》	P 43
16 国等の研究開発事業化支援事業	《国補助事業、国委託事業、財団自主事業》	P 44
17 競争的資金等獲得支援事業	《広域負担金事業》	P 46
18 はままつ次世代光・健康医療産業創出事業	《財団自主事業》	P 48
19 地域産業活性化支援事業	《財団自主事業》	P 48

7 【拓く】販路開拓支援

- 2 0 ものづくり販路開拓支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・《市受託事業》 P 51
- 2 1 販路開拓・マッチング支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・《財団自主事業》 P 54
- 2 2 海外ビジネス展開支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・《市受託事業》 P 57
- 2 3 地場産業振興事業・・・・・・・・・・・・・・・・《財団自主事業》 P 59

8 【創る】次世代自動車センター・フォトンバレーセンター

- 2 4 次世代自動車センター事業
《県補助事業、浜松市負担金事業、財団自主事業、会員会費》 P 64
- 2 5 フォトンバレーセンター事業 《県・5市負担金事業、国補助事業》 P 71

平成 30 年度事業の主な成果指標

◎財団業務全般を通じた成果指標

新産業の創出・新事業展開に向け、地域企業の研究開発を通じた製品試作や事業化を支援

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
製品化・事業化件数	30 件	30 件	30 件

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点（以下、同じ）

◎事業別主な成果指標

1 広報事業

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
ホームページアクセス件数	56,084 件	75,998 件	50,000 件
メールマガジン配信登録件数	904 件	1,155 件	1,000 件

2 相談事業

（相談）

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
経営相談件数	767 件	892 件	—
技術相談件数	494 件	373 件	—
知財相談件数	889 件	805 件	—
合計	2,150 件	2,070 件	2,000 件

（企業訪問事業）

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
企業訪問件数	1,231 件	1,034 件	1,000 件
新規顧客数	246 社	150 社	200 社

（専門家派遣事業）

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
派遣企業数 ※浜松市受託事業	25 社	16 社	25 社
専門家の総合評価	4.2	4.8	4.5

3 創業・新事業展開事業

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
創業者件数 ※3	83 件	95 件	50 件
創業相談件数 ※3	1,081 件	1,204 件	650 件

※3 実績数字は、はままつ起業家カフェ対応実績

4 知的財産活用推進事業

項目	実績		指標※4
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
相談対応件数 ※3	766 件	761 件	690 件
企業訪問件数	129 件	101 件	90 件

※3 静岡県発明協会の知財総合支援窓口担当による相談件数を含む

※4 指標件数は、静岡県発明協会が特許庁に届けた件数

5 人材育成事業

(新素材・新技術講座) (製造中核人材育成講座) (現場力向上人材育成講座)

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
「新素材・新技術講座」受講者数	253 名	150 名	210 名
「新素材・新技術講座」受講者満足度	93%	92%	90%以上
「製造中核人材講座」受講者数	30 名	37 名	30 名
「製造中核人材講座」受講者満足度	97%	96%	90%以上
「製造中核人材講座」新規受講社数	15 社	20 社	10 社
「現場力向上人材育成講座」受講者数	280 名	195 名	220 名
「現場力向上人材育成講座」満足度	97%	97%	90%以上
現場改善実践企業社数 ※3	1 社	3 社	15 社

※3 中小ものづくり現場改善スクール受講企業の実績数字

(自社製品開発事業)

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
新規ビジネスモデル・試作品製作件数	8 件	5 件	10 件
製品化・商品化件数	1 件	1 件	2 件

6 新産業創出支援事業

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
新規プロジェクト立上げ件数	1 件	0 件	1 件以上
共同研究支援補助金採択件数	4 件	2 件	4 件
技術連携マッチング件数	4 件	6 件	5 件
企業訪問件数	一社	22 社	50 社

7 国等の研究開発事業化支援事業 (「戦略的基盤技術高度化支援事業 (サポイン事業)」)

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
サポイン提案採択件数	1 件	1 件	1 件

8 ものづくり販路開拓支援事業

項目		実績		指標
		平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
国内	出展件数	30 社	32 社	35 社
	商談成立件数	90 件	38 件	50 件
海外	出展件数	7 社	8 社	6 社
	商談成立件数	4 件	22 件	6 件

9 販路開拓・マッチング支援事業

項目		実績		指標
		平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
①	「大手メーカー技術商談会」出展社数※3	22 社	43 社	30 社
②	「大手メーカー技術商談会」商談成立件数※3	2 件	3 件	5 件
③	「浜松地域技術商談会」商談成立件数	5 件	2 件	5 件
④	マッチング件数	184 件	120 件	—

※3 ①②は三遠南信技術商談会実績数字（商工会議所連携事業）

10 次世代自動車センター事業

項目		実績		指標
		平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
会員入会企業数		—	324 社	100 社
技術開発支援		—	8 社	15 社
製品開発支援		—	— 社	3 社
販路開拓支援		—	— 社	3 社
「技術マッチング商談会」商談成立件数		—	— 社	3 社

11 フォトンバレーセンター事業（支援・相談件数）

項目		実績		指標
		平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
参入啓発支援		16 件	83 件	20 件
製品開発支援		452 件	790 件	280 件
生産性向上支援		49 件	339 件	30 件
販路開拓支援		278 件	470 件	150 件
海外展開支援		79 件	113 件	50 件
人材育成支援		17 件	142 件	20 件
その他		92 件	325 件	50 件
合計		983 件	2,262 件	600 件

平成 30 年度事業報告

※金額は平成 30 年度決算額、() 内は平成 30 年度予算額、<>内は財源

1 【知る】情報発信

1 広報事業

決算額 1,027,488 円 (予算額 2,075 千円)	<浜松市受託>
決算額 237,682 円 (予算額 800 千円)	<財団自主>
決算額 1,266,187 円 (予算額 1,700 千円)	<県補助・8 市町負担金>

【目的】

財団の企業支援情報及び国、県、市などの中小企業のニーズに即した支援情報を集約・整理し、速やかに提供することにより地域産業を支援する。

また、浜松市より認定を受けた「浜松ものづくりマイスター」の広報を通じて、技能・技術の維持継承と次世代のものづくり産業を担う人材の確保・育成を図る。

【実施内容】

(1) ホームページ、メールマガジンなどによる情報発信

地域企業・大学・研究機関などの最新活動内容や国・県・市の補助金などの支援情報及び地域企業の研究開発や事業化に有益な情報をホームページ（随時更新）やメールマガジンなどを通じて発信した。紙媒体ツールとしては財団紹介パンフレットの更新及び支援施策ガイドなどを作成して情報発信の強化を図った。

ア <広域>メールマガジンの配信

配信日：毎月第 1・第 3 水曜日

内 容：財団の講習会・講演会・セミナー・補助金情報、地域支援機関の支援メニューなど

イ 財団紹介パンフレットの発行（年度更新）

発行日：平成 30 年 6 月

部 数：1,000 部

規 格：A4 サイズ、4 頁

内 容：財団の業務全般、概要、組織図など

ウ 支援施策ガイドの発行

<浜松版>

発行日：平成 30 年 4 月 3 日（火）

部 数：3,000 部

規 格：A4 サイズ、32 頁

内 容：財団、経済産業省、浜松市などの支援施策及び成果事例

<県西部広域版>

発行日：平成 30 年 4 月 3 日（火）

部 数：3,000 部

規 格：A4 サイズ、20 頁

内 容：財団、経済産業省、県西部 7 市町など（浜松市除く）の支援施策及び成果事例

エ 企業訪問用チラシの作成

発行日：平成 30 年 5 月 22 日（火）

部 数：1,000 部

規 格：A4 サイズ、2 頁

内 容：各種相談対応、財団の支援内容、財団の特長、企業間マッチングなど

オ 浜松商工会議所 NEWing 折込み

発行日：平成 30 年 4 月 1 日（日）

部 数：15,000 部

規 格：A4 サイズ、2 頁

内 容：財団支援メニュー紹介など

カ 浜松商工会議所 NEWing 広告掲載

発行日：平成 30 年 12 月 1 日（土）

部 数：15,000 部

規 格：表 2、本文中ページ（見開き 2 頁）

内 容：財団コーディネーター無料相談、企業間マッチングサポート紹介

キ ホームページ、メールマガジン配信システム改修

ホームページへのアクセス分析を行い、その結果に基づきホームページの掲載内容の充実やメルマガにおける配信登録先の情報管理など、システム改修を通じて、迅速で親切な情報提供に取り組んだ。

ク パブリシティ展開

財団施策メニューや地域企業の新たな取り組み等を報道各社へ投込みし、パブリシティの獲得に向け積極的に対応した。

(2) 企業情報・顧客ニーズ調査把握

既存の企業情報データベース（帝国データバンクの企業情報と当財団コーディネーターによる支援の履歴情報を一元化管理するデータベース）を活用し、企業のニーズに即した支援情報の提供や新規顧客の獲得などを推進した。

また、企業ニーズの把握は人材育成事業の受講者アンケート等により情報収集するとともに、その企業ニーズに対して迅速に対応した。

(3) 浜松ものづくりマイスター推進事業

浜松市から認定された「浜松ものづくりマイスター」の卓越した技術・技能の伝承を促すため、ものづくりマイスターによる技術相談をはじめ、技術を広く広報した。

①ものづくりマイスターによる技術相談（随時対応）

②ものづくりマイスターの技術・技能の伝承を促す広報

・海外視察の受け入れ先として紹介

・職業訓練学校の講師として紹介

(4) 浜松地域産業支援ネットワーク会議

地域の 7 つの産業支援機関からなる「浜松地域産業支援ネットワーク会議」の事務局として、中小企業支援等の相互の情報共有や事業連携を推進した。

〔参加団体〕浜松市、浜松商工会議所、(株)浜名湖国際頭脳センター、静岡県中小企業団体中央会西部事務所、静岡大学イノベーション社会連携推進機構、静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター、(公財)浜松地域イノベーション推進機構

[オブザーバー] (独)中小企業基盤整備機構関東本部浜松イノベーションキューブ
(独)日本貿易振興機構浜松貿易情報センター (JETRO 浜松)

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
ホームページアクセス件数	56,084 件	75,998 件	50,000 件
メールマガジン配信登録件数	904 件	1,155 件	1,000 件

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点

【年度総括】

浜松版・県西部広域版「支援施策ガイド」の配布やメールマガジンの配信等により、財団施策や他支援機関施策の理解および活用を促す等、地域企業への適切な情報提供を行った。

企業訪問の際などに、財団がホームページやメールマガジンによる情報発信を行っていることを周知しており、ホームページアクセス件数、メールマガジン配信登録件数ともに増加させることができた。

令和元年度も、地域企業に財団の事業を広く周知し、多くの企業に活用されるよう、適切な広報を実施していく。

2【解く】相談・コンシェルジュ

2 相談事業（専門家派遣事業含む）

決算額 2,403,847 円（予算額 4,300 千円）

＜浜松市受託＞

決算額 362,092 円（予算額 3,800 千円）

＜県補助・8市町負担金＞

【目的】

創業及び経営の向上を図る中小企業者などが抱える経営、技術、人材、情報、知財等の様々な課題に対して、当財団のコーディネーターが相談に応じるとともに、民間の専門家を派遣し適切な助言を行うことにより、中小企業者などの成長及び発展を促進する。

【実施内容】

様々な課題を抱える中小企業者などに対して、当財団のコーディネーターが相談に応じた。また、専門的知識と実務経験を要する相談に対しては、相談内容やニーズに即した有資格者などを専門家アドバイザーとして派遣した。

(1) 各種相談

・コーディネーター相談件数

項 目	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	対前年比
経営相談	767 件	892 件	116.3%
技術相談	494 件	373 件	75.5%
知財相談	889 件	805 件	90.6%
相談総件数	2,150 件	2,070 件	96.3%

・コーディネーター活動内容件数

項 目	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	対前年比
広報	439 件	208 件	47.4%
創業・起業	5 件	10 件	200.0%
知的財産（技術移転）	11 件	12 件	109.1%
知的財産（特許）	398 件	337 件	84.7%
知的財産（実用新案）	68 件	61 件	89.7%
知的財産（意匠）	57 件	32 件	56.1%
知的財産（商標）	240 件	342 件	142.5%
人材育成	42 件	92 件	219.0%
研究開発・新事業展開	512 件	498 件	97.3%
販路開拓	253 件	541 件	213.8%
専門家派遣	209 件	120 件	57.4%
研究会推進	14 件	18 件	128.6%
その他	791 件	608 件	76.9%
内部業務・調整	20 件	51 件	255.0%
活動総件数	3,059 件	2,930 件	95.8%

(2) 専門家派遣事業（浜松市受託事業）

分 野	平成 29 年度※1		平成 30 年度※2	
	派遣企業数	派遣回数	派遣企業数	派遣回数
経 営	24 社	101 回	15 社	63 回
技 術	1 社	5 回	1 社	5 回
知 財	0 社	0 回	－ 社	－ 回
合 計	25 社	106 回	16 社	68 回

・＜広域＞県西部市町ごとの専門家派遣

広域行政	派遣企業数	派遣回数	分野
浜松市	－ 社	－ 回	－
磐田市	1 社	1 回	経営
掛川市	－ 社	－ 回	－
袋井市	－ 社	－ 回	－
湖西市	2 社	6 回	経営
御前崎市	－ 社	－ 回	－
菊川市	1 社	5 回	経営
森町	－ 社	－ 回	－
合 計	4 社	12 回	－

【成果指標】

項目（5段階）	実績（平均値）		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
企業数（報告書受）	25 社	16 社	25 社
①専門家の助言内容	4.3	4.8	4.5
②専門家の姿勢	4.5	4.8	4.5
③専門家とのマッチング	4.0	4.8	4.5
④専門家の助言のわかりやすさ	4.2	4.8	4.5
⑤専門家の助言の進め方	4.3	4.7	4.5
⑥専門家の総合評価	4.2	4.8	4.5

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点

※上記成果指標は、浜松市受託事業分の成果

【年度総括】

相談事業によって地域の市場動向や中小企業などが抱える課題等を常に最新の状態で把握することができ、それらの情報を活かしながら、地域企業の課題解決のために財団のコーディネーターが日々活動した。平成 30 年度の主な相談内容としては、経営相談では「経営基盤強化」「販路開拓（マッチング等）」、知財相談では「特許」「商標」、技術相談では新事業展開に伴う「研究開発」「事業化・製品化」に関する相談が多く、特に新たな販路開拓に関する取り組みに臨む企業が増えており、専門家派遣事業についても、販路開拓に関する相談が昨年度以上に多かった。

令和元年度も企業訪問事業と相談業務の中核を担う専門家派遣事業を連動させ、財団のコーディネーターが専門家派遣の必要性を見極めながら有効活用し、地域の中小企業の経営改善から新事業展開、販路開拓支援による出口戦略までを見据えた総合的な支援を引き続き推進していく。

3 企業訪問事業

決算額 1,451,924 円（予算額 2,060 千円）

＜浜松市受託＞

【目的】

創業及び経営の向上を図る中小企業者などが抱える経営、技術、人材、情報、知財等の課題に対して、財団のコーディネーターが相談に応じるとともに、積極的できめ細かな企業訪問を通じて企業の状況・ニーズを把握し、適切な助言や施策の紹介・活用の支援および地域企業情報の発信を行うことにより、中小企業者等の成長及び発展を促進した。

【実施内容】

専ら企業訪問を企画して先導するプロパースタッフを選任し、浜松地域の中小企業者などに対して、財団コーディネーター等を中心としたプロジェクトチームによるきめ細かい企業訪問（御用聞き）を実施した。

訪問を通じて、企業が抱える課題の把握と解決に取り組むとともに、支援ニーズの聞き取りを行い、地域産業の現状を見える化し、施策立案につなげた。

企業訪問の手法としては、初回は財団コーディネーターを中心とした単独での訪問による御用聞きを実施し、訪問企業の状況に応じてコーディネーターの目利きにより地域の産業支援機関と連携したプロジェクトチームにて再訪問を行った。また、飛び込み営業による新規顧客開拓及び産業支援機関・金融機関への巡回を通じた情報共有や連携支援に努めた。

さらに、訪問先は今後の地域産業を牽引する中堅企業をはじめ、成長分野に挑戦している企業や新事業展開に取り組む企業などをターゲットとし、隠れた実力企業の掘り起こしや新規顧客の開拓を行った。

(1) 「浜松市新産業創出事業費補助金」 交付企業に対するアドバイス

「浜松市新産業創出事業費補助金」は、浜松市において戦略的に支援すべきと位置付けている成長 6 分野（次世代輸送用機器、健康・医療、新農業、光・電子、環境・エネルギー、デジタルネットワーク・コンテンツ）について新技術・新製品等の研究開発により事業化を目指す市内の中小企業者等に対し、研究開発費の一部を補助することで事業化の実現を促し、浜松経済をけん引する成長産業の創出につなげていくことを目的としている補助事業である。

当財団は、当該補助金に採択された中小企業に対して、研究開発に関する技術的な支援はもとより、事業化された新技術・新製品等の販路開拓まで、浜松市と一体のフォロー体制で支援を行った。

◎平成 30 年度「浜松市新産業創出事業費補助金」交付決定：21 社（122,000 千円）

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
企業訪問件数	1,231 件	1,034 件	1,000 件
新規企業訪問数	246 社	150 社	250 社

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点

【年度総括】

浜松地域の中小企業の実態把握及び財団 PR を目的に、財団コーディネーター及びプロパースタッフによる企業訪問事業を実施。平成 30 年度は、1,034 件の企業訪問を実施し、新しく財団支援メニューを活用した新規企業も顧客に加わり、昨年度以上

に財団の PR につながったと考察する。また、平成 30 年度はマッチング支援に注力して企業訪問を実施し、地域企業間 120 件のマッチング支援を行った。

令和元年度も企業訪問を積極的に実施することで、地域企業のニーズやシーズを把握し、浜松地域の製造業の現状や特長をデータベース化するとともに、マッチング支援や地域企業にとって役立つ新たな支援メニューの開発にもつなげていく。

また、引き続き地域企業にとって新たな販路開拓が重要課題と位置づけ、財団コーディネーターやプロパースタッフが企業訪問を通じて、企業間マッチングを推進していく。

4 研究会推進事業

決算額 ー円（予算額 ー 千円） <事務局受託>

※研究会費の 2 割を受けて事務局運営を担う

【目的】

各種研究会の事務局として、総会や幹事会、セミナー、講座等の運営に係る側面支援を行うことにより、企業間の連携・交流を促進する。

【実施内容】

技術や市場、販路開拓などの研究や情報交換、異分野・異業種の交流を目的とする以下の 7 つの研究会において、財団が事務局機能を担い、セミナー、講座等の企画運営に係る支援を行った。

(1) 異業種交流グループ

ア TM プラザはままつ（会員数：33 社）

<総会>

開催日：平成 30 年 4 月 10 日（火）

会 場：呉竹荘

出席者：会員 26 社 40 名

<事業内容>

講演会：2 回（うち公開 1 回）

視察会：2 回（国内 1 回、海外 1 回）

情報交換会等：9 回

イ 浜松技術交流プラザ 82（会員数：17 社）

<総会>

開催日：平成 30 年 4 月 17 日（火）

会 場：呉竹荘

出席者：会員 11 社 18 名

<事業内容>

講演会：3 回（公開 3 回、うち他研究会と合同 1 回）

視察会：1 回

ウ 都田アソシエイツ（会員数：53 社）

<総会>

開催日：平成 30 年 7 月 12 日（木）

会 場：クラウンパレス浜松

出席者：会員 29 社 33 名

<事業内容>

講演会：2回（公開2回、うち他研究会と合同1回）

視察会：4回（会員企業3回、他研究会と合同1回）

(2) 成長分野研究会

ア VB・VC 研究委員会（会員数：18 社）

<総会>

開催日：平成 30 年 6 月 29 日（金）

会 場：オークラアクトシティ浜松

出席者：会員 10 社 13 名

<事業内容>

講演会：2回（公開2回）

視察会：1回

イ ソフトウェア産業振興研究委員会（会員数：29 社）

<総会>

開催日：平成 30 年 5 月 23 日（水）

会 場：クラウンパレス浜松

出席者：会員 12 社 15 名

<事業内容>

講演会：2回（公開2回、うち他研究会と合同1回）

視察会：2回

ウ 先端精密技術研究会（会員数：法人 43 社、個人 23 名）

<総会>

開催日：平成 30 年 5 月 18 日（金）

会 場：呉竹荘

出席者：会員 25 社 29 名（個人会員含む）

<事業内容>

講演会：2回（公開2回）

視察会：4回（会員企業3回、他研究会と合同1回）

エ 次世代設計・製造構造研究会（会員数：法人 23 社、個人 1 名、学校 3 校）

<総会>

開催日：平成 30 年 5 月 8 日（火）

会 場：オークラアクトシティ浜松

出席者：会員 19 社 39 名

<事業内容>

講演会：4回

懇談会：4回

【年度総括】

平成 30 年度も、これまで同様に 7 つの研究会から事務局業務を受託し、企画運営に係る支援を実施した。これまで、各研究会では事業計画に沿って講演会・視察会等を実施しながら、地域の情勢に合わせ、新たな取り組みも行ってきた。

本年度においては、常葉大学が都田地域の企業との連携を模索しているとのことから、都田アソシエイツに協力支援機関として新たに参加し、都田地域の大学・住民・企業との連携窓口としての機能を果たしている。また、先端精密技術研究会については、事業の参加率向上のために視察会開催後の視察レポートを配信したり、視察会へ

学生の参加を促したりと新たな試みを始めた。

令和元年度についても、引き続き各研究会の事業実施のサポートを行うとともに、新たな取り組みも含め、事業計画について検討していく。

3【興す】創業・新事業展開支援

5 創業・新事業展開支援事業

決算額 6,110,000 円（予算額 6,100 千円）　＜自主財源＞

事業承継等相談支援事業

決算額 2,317,376 円（予算額 2,940 千円）　＜浜松市受託＞

【目的】

浜松地域の基幹産業であるものづくり産業のみならず、商業・サービス業、医療・福祉事業など、多種多様な産業分野における起業や新事業展開を促進するため、地域の産学官金の機関が連携により、創業・第二創業、ベンチャー企業の支援を行う創業支援のワンストップ拠点「はままつ起業家カフェ」を浜松市・商工会議所と協同運営し、起業や新事業展開を促進する環境（体制・事業）を構築する。また、中小企業経営者の高齢化が進む中、事業承継に対する相談窓口を「はままつ起業家カフェ」内に新規で設置し（専任にコーディネーターを新規委託雇用）、事業承継対策の必要性を周知するとともに、事業者が相談しやすい環境を整える。

【実施内容】

浜松地域の産業基盤である製造業（ソフトウェア業含む）を新たに開業する個人又は開業後 5 年未満の中小企業者に対して、創業時等に係る経費の一部を助成し、浜松市の産業イノベーション構想につながる製造業が起業しやすい環境を整えるとともに、製造業におけるベンチャー企業の発展につなげた。そして、新たに創業した個人や事業者に対して、財団及びはままつ起業家カフェ、地域支援機関（行政・地域金融機関・商工会など）の創業に関する取り組みを連動させ、地域一丸となり、起業家やベンチャー企業のための成長支援を幅広くサポートした。

また、平成 30 年度は、中小企業者の高齢化が進んでいる状況の中、事業者の大きな課題の一つである事業承継に関するサポートを強化するため、新たに「はままつ起業家カフェ」内に事業承継相談窓口を設けるとともに、専任のコーディネーターを新規で雇用し、相談者への助言を通じて事業承継を円滑に推進する体制を整えた。

【はままつ起業家カフェ実績】

(1) 相談事業

相談者数：988 名（実数）　※平成 29 年度実績：840 名

相談件数：1,204 件（延べ数）　※平成 29 年度実績：1,081 件

新規創業者数：95 名（男性 59 名、女性 36 名）　※平成 29 年度実績：83 名

※製造業 15 名、建設業 3 名、サービス業 34 名、飲食業 9 名、医療・福祉業 10 名、情報通信業 1 名、卸・小売業 16 名、教育・学習支援 5 名、農林漁業 1 名、不動産業 1 名

特定創業支援事業申請：64 名　※平成 29 年度実績：57 名

事業承継相談者数：35 名

(2) 補助金事業

ア ものづくり創業支援補助金（市予算 3,000 千円）

目　　的：浜松市内で新たにものづくりに係る創業を行う者に対し、開業に際し必要となる設備費等の経費の一部を助成

受付期間：平成 30 年 4 月 1 日（日）～平成 31 年 2 月 28 日（木）　※随時

補　助　率：1/2 以内

補助額：上限 1,000 千円

対象経費：補助事業のために使用される単価 30 万円以上の機械装置、工具
器具、分析装置、専用ソフトウェアの購入・設置、製作費用など

申請件数：4 件

採択件数：4 件

交付決定額：2,597,550 円（4 件）

交付確定額：2,597,450 円（4 件）

イ 会社設立支援補助金（市予算 2,000 千円 ※概ね 20 件）

目的：初めて会社（株式会社、合同会社、合名会社、合資会社）を設立
する際に、会社設立までに要する経費の一部を助成

受付期間：会社設立登記完了後 60 日以内か平成 31 年 3 月 29 日（金）のど
ちらか早い日まで

補助率：1/2 以内

補助額：上限 100 千円

対象経費：定款認証に必要な費用、登記申請に係る費用、会社設立に要する
手続きを司法書士等に依頼した場合の報酬等の費用など

申請件数：24 件

採択件数：24 件

交付決定額：1,998,674 円（24 件）

交付確定額：1,998,674 円（24 件）

(3) 創業・新事業展開セミナー

開催日：平成 30 年 7 月 28 日（土）

会場：浜松商工会議所会館 会議室

講師：はままつ起業家カフェ相談員（中小企業診断士） 村木 則予 氏

ライト・イア（同）（浜松市中区） 代表社員 大和 誠 氏

コミュニティカフェ Pao（浜松市中区） 天沼 えり子 氏

㈱エクセレンスライズ

デイサービス和彩花（浜松市浜北区） 施設長 河合 昇 氏

内容：①講演／セカンドキャリアとしての起業

（基調講演＋先輩起業家の体験談）

②パネルディスカッション

受講料：無料

参加者：59 名（定員：60 名）

(4) 起業サロン

開催日：平成 30 年 9 月 3 日（月）

会場：はままつ起業家カフェ

講師：浜松美活ヨガ（浜松市中区） 大塚 ゆかり 氏

34DINER（浜松市中区） 山崎 浩 氏

内容：①起業体験談／先輩起業家に聴く！

②交流会

受講料：無料

参加者：24 名（定員：20 名）

開催日：平成 30 年 11 月 8 日（木）

会場：はままつ起業家カフェ

講 師：(株)プログメイト（浜松市中区） 代表取締役社長 稜野 寿章 氏
ミツノシマ（浜松市西区） 揚張 あや子 氏

内 容：①起業体験談／先輩起業家に聴く！
②交流会

受講料：無料

参加者：18名（定員：20名）

(5) 起業実践サロン

開催日：平成30年11月17日（土）～平成30年12月15日（土）

会 場：はままつ起業家カフェ

講 師：光産業創成大学院大学 学長 兼 (株)TAK システムイニシアティブ
（浜松市浜北区） 代表取締役 瀧口 義浩 氏
光産業創成大学院大学 教授 増田 靖 氏
はままつ起業家カフェ相談員（中小企業診断士） 村木 則予 氏
製造業起業家

内 容：ものづくり・ITで起業（全3回講座）

共 催：光産業創成大学院大学

受講料：無料

参加者：8名（定員：12名）

開催日：平成31年1月17日（木）～平成31年3月7日（木）

会 場：はままつ起業家カフェ

講 師：はままつ起業家カフェ相談員（中小企業診断士）
村木 則予 氏、杉本 光生 氏、荒井 豊 氏

内 容：ビジネスプラン作成講座（全7回講座）

受講料：無料

参加者：14名（定員：10名）

(6) 特別講座

開催日：平成30年10月25日（木）

会 場：はままつ起業家カフェ

講 師：(有)魚魚一（浜松市中区） 代表取締役 仲村 健太郎 氏
(有)ひぐち商会（浜松市中区） 専務取締役 山本 賢 氏

内 容：飲食店の始め方

受講料：無料

参加者：21名（定員：30名）

開催日：平成30年12月4日（木）

会 場：はままつ起業家カフェ

講 師：(株)ビューティースマイル（浜松市南区） 代表取締役 高橋 繁世 氏

内 容：エステ・ネイル・マッサージサロンの始め方

受講料：無料

参加者：18名（定員：30名）

(7) 起業に役立つミニ講座

開催日：平成30年8月2日（木）

会 場：はままつ起業家カフェ

講 師：貿易なんでも窓口（磐田市） 吉田 佳奈 氏

内 容：講演／はじめてでもできる「カンタン」輸出入セミナー
 受講料：無料
 参加者：28名（定員20名）

(8) 起業家交流会 ベンチャーミーティング

開催日：平成30年6月28日（木）
 会 場：コミュニティスペース Any
 講 師：先輩起業家

内 容：①起業家によるプレゼンテーション（4名）

孫の手サービス㈱（浜松市中区） 代表 渥美 由紀子 氏

㈱GAiAS（浜松市浜北区） 代表 足立 和優 氏

㈱新冷熱技研（浜松市浜北区） 代表取締役 馬場 勝人 氏

PREEXS（浜松市中区） 山崎 靖晃 氏

②起業家交流会（PR ブース9社）

Smiley Bell、ユニークグリーン、Mocomode、冒険今日 DO 隊

孫の手サービス㈱、Lady Dile、&Ange、atelier※ egao、Dice

参加料：500円

参加者：44名（定員：50名）

開催日：平成30年11月29日（木）

会 場：コミュニティスペース Any

講 師：先輩起業家

内 容：①起業家によるプレゼンテーション（4名）

看取りプライマリーサポート つなぎ（浜松市東区）

代表 山下ひろみ 氏

データバースト㈱（浜松市東区） 代表取締役社長 玉井 和司 氏

（同）ことゆく社（浜松市南区） 代表 和久田 麻衣 氏

MATCHA KAORI JAPAN㈱（浜松市中区） 吉宮 しおり 氏

②起業家交流会（PR ブース9社）

データバースト㈱、（同）ことゆく社、semmel、HR、北欧雑貨 Koti、

鈴木ソフトラボラトリー（同）、㈱シャツカンマー、ユニークグリーン

参加料：500円

参加者：38名（定員：50名）

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成29年度※1	平成30年度※2	平成30年度
創業者件数	83件	95件	50件
創業相談件数	1,081件	1,204件	1,000件
セミナー参加人数	47名	59名	一名
実践サロン・講座等参加人数※3	168名	213名	一名

※1：平成30年3月末日時点、※2：平成31年3月末日時点

※3：平成29年度8回開催、平成30年度9回開催

【年度総括】

創業支援総合窓口として浜松市・浜松商工会議所と協同で開設した「はままつ起業家カフェ」と連携しながら浜松地域の創業希望者のサポートを実施した。また、はま

まつ起業家カフェを交流スペースとして有効利用し、情報収集や創業希望者同士の交流の場として積極的に活用してきた。

平成 30 年度は、はままつ起業家カフェの創業支援から 95 名が開業し、前年度を大幅に上回る創業者実績に繋げている。引き続き、令和元年度も本事業を推進するだけでなく、浜松地域にとって創業しやすい環境づくりも併せて行っていく。

また、令和元年度の事業承継等相談支援事業については、浜松市へ移管し、静岡県や浜松商工会議所などの事業承継相談窓口と連携した形で支援を続けていく。

6 債務保証事業

決算額 1,899,540 円（予算額 1,900 千円） <財団自主>

【目的】

地域中小企業が行う技術、新製品の研究開発に係る資金調達の円滑化を図り、研究開発型企業の育成を促進する。

【実施内容】

新技術・新製品の開発に際し、中小企業が融資銀行から借り入れた研究開発資金に対して、債務保証（保証期間 8 年以内、保証限度額 最大 3 千万円、無担保）を行った。

(1) 債務保証制度内容

保証限度額 : 一企業 30,000 千円以内
利 率 : 年 1.5%（静岡県制度融資適用の場合）
保証期間 : 8 年以内
保証料率 : 0.9%保証限度額

(2) 新規債務保証

平成 30 年度：新規債務保証 0 件

(3) 債務保証残高

平成 30 年度：債務保証残高 0 円

(4) 求償権の回収

対象企業 3 社のうち 2 社返済中（年間回収額 300 千円）

【成果指標】

（単位:千円）

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
求償権の回収額	300 千円 (600 千円)	420 千円 (502 千円)	300 千円 (600 千円)

※1：平成 29 年度決算時点、※2：平成 30 年 3 月度決算時点

※（）内は一般財団法人日本立地センター分を含めた回収額

【年度総括】

平成 30 年度における求償権については、対象企業 3 社のうち 2 社の入金が継続されている。第 4 四半期も返済が滞らないよう、入金状況を都度確認した。なお、入金が継続しているうちの 1 社については、平成 31 年 1 月をもって求償権の回収が完了し、返済継続は 1 社のみとなった。

また、財団としては、本回収額に対する求償権は償却処理しているため、回収した

債権は償却債権回収益として対応している。返済が滞っていた 1 社については、平成 28 年 11 月に時効が成立しており、返済見込みは極めて薄いと判断している。

4【活かす】知財総合支援

7 知的財産活用推進事業

決算額 671,660 円（予算額 993 千円） <浜松市受託>

【目的】

企業活動において特許、商標等の知的財産権は重要なものであり、企業経営における知財活用の有効性や必要性を広く地域中小企業へ啓発し、知財の効果的活用を促進するため、特許・商標等の調査、出願・権利取得、権利活用等の知財に関する各種相談に応じるとともに、中小企業の出願に対する資金面での支援を行う。また、中小企業等の知財に関わる人材の育成支援を行う。

【実施内容】

(1) 知財相談対応

個々の相談案件に対して、企業の経営、事業に貢献すべく、戦略的視点をもって知財に起因する事業上のリスク低減と知財価値の最大化の両面から適切な知財支援を行う。支援においては、当財団知財コーディネーターと知財総合支援窓口担当（特許庁事業）とが連携し、必要に応じて特許庁事業の専門家派遣制度（弁理士、弁護士やデザイン、ブランド等の専門家を企業に派遣）を活用するとともに、当財団技術、経営コーディネーターとも連携して行った。

また、これまで知財相談のなかった企業であっても、潜在的に知財問題を抱えているケースもあり、地域の金融機関や商工会議所、商工会等とも連携して掘り起こしに努めた（新規の知財相談企業数を増やす）。さらに、知財相談等を通じて企業や商工会等に出向いて知財講習会を実施した。

(2) 知財講演会・講習会の開催

ア 知財関連法、知財関連判例、中小企業の知財戦略・知財活用等に関する講演会を開催する。

・特許庁、関東経済産業局主催 ※浜松市、当財団後援

講演会①

開催日：平成 30 年 9 月 10 日（月）

会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

講 師：ナインシグマ・アジアパシフィック(株)（東京都千代田区）

ヴァイスプレジデント 松本 毅 氏

コマツ CTO 室 ProgramDirector（東京都港区） 富樫 良一 氏

内 容：巡回特許庁 in 浜松

「第四次産業革命がもたらすオープンイノベーションの新潮流とものづくり企業の将来」他

受講料：無料

参加者：150 名（定員：200 名）

・特許庁、（独）工業所有権情報・研修館、関東経済産業局主催

※当財団は協力

講演会②

開催日：平成 30 年 9 月 11 日（火）

会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

講 師：特許庁 産業財産権専門官

内 容：平成 30 年度「知的財産権制度説明会（初心者向け）」

受講料：無料

参加者：84名（定員：80名）

- ・特許庁、関東経済産業局、浜松市との共催事業

※実施機関：（一社）発明推進協会

講演会③

開催日：平成30年10月12日（金）

会場：アクトシティ浜松 研修交流センター

講師：弁護士法人内田・鮫島法律事務所（東京都港区）

弁護士 永島 太郎 氏

内容：小説「下町ロケット」にみる中小企業の知財戦略

受講料：無料

参加者：43名（定員：40名）

講演会④

開催日：平成31年2月7日（木）

会場：アクトシティ浜松 研修交流センター

講師：中小企業診断士 五島 宏明 氏

内容：あなたの会社のお宝発掘

～隠れた自社の知的財産を新たな事業のネタへ変身～

受講料：無料

参加者：36名（定員：40名）

- ・文化庁、浜松市との協力事業

講演会⑤ 著作権セミナー

開催日：平成30年11月22日（木）

会場：TKP 浜松アクトタワーカンファレンスセンター ホールA

講師：第一部／文化庁職員

第二部／さくら国際特許法律事務所（愛知県名古屋市）

弁護士・弁理士 三木 浩太郎 氏

内容：第一部／著作権法の基礎講座

第二部／日常生活に関わる著作権・企業活動に関わる著作権

受講料：無料

参加者：47名（定員：70名）

イ 中小企業等における知財に関わる初心者を対象にした知財基礎講習会（全7回コース）を開催した。

- ・初心者向け知財基礎講習会 ※はままつ知財研究会との共催事業

開催日：平成30年7月31日（火）～平成31年2月22日（金）（全7回）

会場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室、ポリテクカレッジ浜松

講師：知財コーディネーター 石井 勉

内容：下記のとおり

受講料：はままつ知財研究会会員／無料

非会員／〔市内〕1,000円、〔市外〕2,000円

参加者：19名（定員：20名）

(講座内容)

開催日	内 容	会 場
7 月 31 日 (火)	①知的財産権制度の概要 ②特許制度と特許法の概要①	浜松地域イノベーション推進機構セミナー室
8 月 24 日 (金)	③特許制度と特許法の概要② ④特許権の事例紹介	浜松地域イノベーション推進機構セミナー室
9 月 28 日 (金)	⑤特許権の権利範囲 ⑥特許権の利用関係	浜松地域イノベーション推進機構セミナー室
10 月 26 日 (金)	⑦意匠制度、商標制度の概要 ⑧特許情報調査と特許情報の活用	ポリテクカレッジ浜松
11 月 30 日 (金)	⑨研究開発成果の保護について (特許出願・ノウハウ秘匿)、他社権利対策、自社権利行使について	浜松地域イノベーション推進機構セミナー室
1 月 25 日 (金)	⑩著作権制度の概要 ⑪不正競争防止法の概要 ⑫知的財産関連契約	浜松地域イノベーション推進機構セミナー室
2 月 22 日 (金)	⑬企業における知財活動と知財戦略について ⑭まとめ	浜松地域イノベーション推進機構セミナー室

ウ 知財サロン塾 ※はままつ知財研究会との共催事業

企業の知財担当者が抱えている課題、悩み等について、意見・情報交換、ディスカッションする場を開催した。

①開催日：平成 30 年 12 月 7 日 (金)

会 場：(公財) 浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

内 容：社内の知財教育、職務発明規定について

受講料：無料

参加者：6 社 6 名 (定員：6 名)

②開催日：平成 31 年 2 月 15 日 (金)

会 場：(公財) 浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

内 容：発明発掘活動、海外知財問題について

受講料：無料

参加者：6 社 6 名 (定員：6 名)

開催日	内 容	会場
12 月 7 日 (金)	社内の知財教育、職務発明規定について	浜松地域イノベーション推進機構セミナー室
2 月 15 日 (金)	技術者の知財教育、特許出願活動について	浜松地域イノベーション推進機構セミナー室

エ 出前知財講習会

知財相談等を通じて企業や商工会等に出向いて知財講習会を開催した。

①開催日：平成 30 年 9 月 11 日 (火)

会 場：静岡県立浜松工業高等学校

対象者：デザイン科1年生

内 容：具体的事例に基づくデザイン活動に係る知的財産権について

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

参加者：36名

【成果指標】

項目		実績		指標
		平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
①相談対応件数		766 件	761 件	700 件
②企業訪問件数		129 件	101 件	85 件
③専門家派遣件数		71 件	71 件	50 件
④出願支援件数	特許	11 件	8 件	一件
	実用新案	1 件	5 件	
	意匠	4 件	5 件	
	商標	24 件	41 件	
⑤講演会・講習会開催回数		12 回	14 回	10 回以上
⑥出前知財講習会開催回数		3 回	1 回	2 回
⑦参加者満足度		93%	81%	—%

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点

※①～③は静岡県発明協会の知財総合窓口支援担当による相談件数を含む

※指標件数は特許庁が設定した知財総合窓口支援事業の目標件数

【年度総括】

平成 30 年度の相談対応件数 761 件は、平成 29 年度実績とほぼ同じであるが、目標件数 700 件を 9%上回った。このうち、新規相談者からの相談件数は 128 件（17%）あり、この新規相談者は金融機関、商工会議所、商工会等からの支援要請や紹介なども多く、今後も地域の他機関との連携強化を図って新規相談者を増やしていく。

相談の内容としては、代理人（弁理士）を使わず、本人による特許、実用新案、意匠、商標の出願や出願審査段階での特許庁手続きに関する相談案件が多く、中でも商標の直接出願に関する相談・支援が増えた。また、他社知的財産権問題、自社知的財産権の権利行使、著作権問題、模倣品問題に関する相談や秘密保持契約、共同開発契約等の契約問題に関する相談など、相談内容の幅が広がってきている。なお、経営や事業に直結するような重要な案件については特許庁事業の専門家派遣制度を活用し、弁理士、弁護士等と連携して慎重かつ適切な対応に努めてきた。

知財講演会については、浜松市と連携して特許庁事業の「平成 30 年度戦略的知財マネジメント促進事業・知的財産セミナー」、文化庁事業の「平成 30 年度著作権セミナー」などを本地域で開催することを関東経済産業局、文化庁へ要請し、当方の要望する内容で順次開催することができた。

また、中小企業等における技術者や新任知財担当者に対する「初心者向け知財基礎講習会」については、今年度から開催回数を増やして全 7 回コースとし、内容の充実を図り、参加者からも高評価を得ている。加えて、今年度から新たに「知財サロン塾」を開催し、企業の知財担当者が現に抱えている課題、悩み等の解決を図るべく、少人数による意見・情報交換、ディスカッションを行う場を設け、企業の知財活動の向上に向けて取り組んだ。

8 はままつ知財研究会連携事業

決算額 一円（予算額 一 千円） <事務局受託>

【目的】

「はままつ知財研究会」が開催する知財に関する研究部会活動等の各種事業を事務局として支援するとともに、同研究会との連携により、地域企業の知財活動の向上と知財に関わる人材育成に取り組む。

【実施内容】

「はままつ知財研究会」事務局として、同研究会の事業活動をサポートした。また当財団の知財活用推進事業と連携することにより、地域企業の知財活動の向上を図るとともに、知財に携わる人材のレベルアップを図った。

具体的な活動として、同研究会が開催する講演会や知財問題研究部会等の開催をサポートするとともに、当財団と同研究会の共催にて浜松市受託事業の知財講演会、知財講習会を開催した。

(1) 総会

開催日：平成 30 年 6 月 14 日（木）

会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

内 容：公開講演会「経営に資する知的財産活動とは？」

講 師：柳野国際特許事務所（大阪府大阪市） 所長・弁理士 柳野 隆生 氏

参加者：36 名（定員：50 名）

(2) 知財問題研究部会（IP 部会）

開催回	開催日	内 容（講師）
第 70 回	5 月 11 日（金）	特許無効審判について“口頭審理”とは何かを知っておこう！ 講師：特許庁審判部職員
第 71 回	7 月 13 日（金）	AI・IoT 時代の知財の守り方～近時の法制度の考え方を元にした新技術への対応～ 講師：響国際特許事務所（神奈川県横浜市） 弁理士 西川 隆記 氏
第 72 回	9 月 7 日（金）	中国における商標権利化の留意点及び OEM 生産の侵害該当性に関する最高裁判決の紹介 講師：日本技術貿易㈱（東京都港区） 中国弁護士 範 囿 氏
第 73 回	11 月 2 日（金）	営業秘密・知財戦略～“秘密情報を守り・生かす方法を一緒に考えましょう”～ 講師：(独)工業所有権情報・研修館（東京都港区） 知的財産戦略アドバイザー 小高 邦夫 氏
第 74 回	1 月 11 日（金）	中小企業の持つ優れた技術を「標準化」して普及しよう！ 講師：(一財)日本規格協会（東京都港区） 標準化アドバイザー 岩永 明男 氏
第 75 回	3 月 1 日（金）	進歩性の審査基準の理解を深めましょう！ 講師：長谷川特許事務所（静岡県焼津市） 弁理士 長谷川 和家 氏

会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター ほか

定 員：各回 30 名

参加者：第 70 回 33 名、第 71 回 24 名、第 72 回 23 名、第 73 回 24 名、
第 74 回 26 名、第 75 回 20 名

(3) 知財経営研究部会（CIPO 部会）

※平成 30 年度は開催を見送った。

(4) 見学会

開催日：平成 30 年 11 月 9 日（金）

会 場：豊橋技術科学大学

内 容：①三浦純教授・副学長 研究室「aisl」（知能ロボット）の見学
②岡田美智男教授 研究室「ICD-LAB」（弱いロボット）の見学

参加費：無料

参加者：10 名（定員 20 名）

【年度総括】

平成 30 年度の当初計画どおり、平成 30 年 6 月には総会および総会後の知財公開講演会「経営に資する知的財産活動とは？」を開催し、11 月には豊橋技術科学大学研究室の見学会を開催した。また、IP 部会では、会員企業の知財担当者、会員の弁理士などが幹事・委員として自ら企画・運営していることにより、会員にとって有益な活動ができていると考察する。なお、CIPO 部会については、部会内容の見直しを検討協議したことなどにより、開催を見送った。

9 特許等出願支援補助事業

決算額 3,884,438 円（予算額 4,003 千円） <浜松市受託>

【目的】

浜松地域の中小企業の特許等の出願を促進することにより、中小企業の産業財産権を活用した事業展開を支援し、浜松地域の産業振興を図る。

【実施内容】

浜松市内の中小企業、個人事業主の国内における特許出願、実用新案出願、意匠出願および海外における特許出願、実用新案出願、意匠出願、商標出願に対する出願費用の補助を行った。国内出願補助金と海外出願補助金を一本化し、補助金申請状況に合わせて柔軟に対応した。

また、補助金採択企業に対して、出願後のフォローアップを含めて必要な支援を行うように努めた。

(1) 特許等出願費補助金

公募期間：[1 次] 平成 30 年 4 月 16 日（月）～5 月 31 日（木）

：[2 次] 平成 30 年 8 月 20 日（月）～9 月 28 日（金）※国内のみ

ア 国内出願補助金（予算配分目安 1,500 千円）

対 象：浜松市内に本社機能を有する中小企業者、個人事業者及びそれら
で構成される共同体

補 助 率：1/2 以内

補助金額：上限 150 千円

対象経費：出願手数料、弁理士費用

イ 海外出願補助金（予算配分目安 2,500 千円）

対 象：浜松市内に本社機能を有する中小企業者、個人事業者及びそれら
で構成される共同体

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 500 千円

対象経費：外国特許庁への出願手数料、国内・現地代理人費用、翻訳費用
先行技術調査費用など

申請件数：[1 次] 国内 10 件、海外 8 件

：[2 次] 国内 2 件

採択件数：[1 次] 国内 10 件、海外 8 件

：[2 次] 国内 2 件

交付決定額：[1 次] 国内 1,399,700 円（10 件）、海外 2,834,250 円（8 件）

：[2 次] 国内 300,000 円（2 件）、

交付確定額：[1 次] 国内 1,370,100 円（10 件）、海外 2,202,870 円（7 件）

：[2 次] 国内 300,000 円（2 件）

【国内出願補助金】

（単位：円）

1 次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	池田商店 (浜松市南区)	実案	イチゴパック用ガゼット袋	150,000
2	内田工業㈱ (浜松市北区)	特許	建立ジェット噴射装置	150,000
3	㈱シーエス技研 (浜松市東区)	特許	橋梁補修点検工事の短工期化 を実現する足場移動工法の確立	150,000
4	㈱小林ダイヤ (浜松市東区)	特許	繊維質を含有する被削材用の 穴あけ工具	150,000
5	㈱AVEST (浜松市中区)	特許	車両用照明装置	150,000
6	(有)ファイバー浜松 (浜松市浜北区)	実案	レーザー照射の貫通孔形成で 溶融して一体化する樹脂製繊維 ベルトの積層部結合技術の確立	123,100
7	ショーダテクトロン ㈱ (浜松市西区)	特許	頭部・頭頸部放射線治療用マウ スピース	90,000
8	㈱シェルタージャパ ン (浜松市東区)	特許	地下シェルターおよび地下シ ェルター築造方法に関する、国 内特許等出願費補助金交付の 申請	107,000
9	㈱エヌエー (浜松市浜北区)	特許	無人搬送車用アドレスセンサ (新アドレス標記タイプ) の開 発	150,000
10	㈱エスト (浜松市西区)	特許	見守り用離床検知装置	150,000
計				1,370,100

2 次	企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	ECO METAL ENG (株) (浜松市中区)	特許	ダイカスト装置における真空室内での給湯・鋳込み機構によるダウンサイズ加工法、ならびに多工程循環鋳造システムの開発	150,000
2	榎本工業(株) (浜松市北区)	特許	3D プリンタによる成形品の製造方法	150,000
計				300,000

【海外出願補助金】

(単位：円)

1 次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	やまと興業(株) (浜松市浜北区)	特許	ケーブル装置及びその製造方法	中止
2	(株)nakano (浜松市中区)	商標	Ricohaco	83,657
3	(株)シェルタージャパン (浜松市東区)	商標	シェルタージャパン	465,673
4	(株)サンプラ (浜松市中区)	特許	金属偽装樹脂成形部材の製造方法、金属偽装樹脂成形部材及び金属樹脂成形部材の使用方法	383,935
5	ショーダテクトロン (株) (浜松市西区)	特許	端面塗布装置	411,865
6	アツミ電気(株) (浜松市北区)	特許	熱線センサ	462,568
7	サクラ工業(株) (浜松市東区)	商標	SM マーク	326,252
8	池島フーズ(株) (浜松市浜北区)	商標	富士の国	68,920
計				2,202,870

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
国内出願補助金業採択件数	12 件	12 件	10 件
海外出願補助金採択件数	7 件	8 件	5 件
企業訪問件数	9 社	19 社	15 社

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 30 年度の特許等出願費補助金は、平成 30 年 4 月に開催した「補助金獲得セミナー」及び企業訪問等による周知を図った結果、海外出願分の申請件数が増え、1

次募集で全予算枠に達した。一方、国内出願分は当初予定していた予算配分額を下回ったこと、また、企業から追加募集の要望があったことを受けて、9月に2次募集を行って2件を採択した。それぞれ、知財コーディネーターのアドバイスを受けながら出願手続きを進め、地域企業の知的財産権保護を図った。

なお、海外出願補助金については他機関も実施しており、採択企業のうち1件が他機関での補助金交付を選択し、取りやめとなる事例が発生した。今後、他機関との調整、制度設計についての見直し等を行い、より効果の高い事業を実施していく。

5【学ぶ】人材育成支援

10 新素材・新技術講座

決算額 705,094 円（予算額 1,206 千円）

＜県補助・8市町負担金＞

【目的】

従来技術の高度化や新規事業に取り組みたい中小企業経営者を対象に、新素材や新技術に対応するための各種セミナーを開催することにより、地域企業のレベルアップを目指す。

【実施内容】

国が推進する産業が目指すコンセプトである Connected Industries（つながる産業）に関する最新情報、ものづくりの最前線である金属加工分野の最新動向についてセミナーを開催した。

(1) “つながる” が創り出す中小企業の未来 Connected Industries セミナー

開催日：平成 30 年 6 月 27 日（水）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：演題／「Connected Industries」とは

講師／経済産業省 製造産業局 参事官（デジタル化・産業システム担当）
徳増 伸二 氏

演題／「“東京町工場ものづくりのワ” プロジェクト」の取組み

講師／東京町工場ものづくりのワ

事務局長/Creative Works 代表 宮本 卓 氏

演題／地域企業先進事例（IoT 活用）

講師／原田精機㈱（浜松市北区）

代表取締役 原田 浩利 氏

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：38 社 42 名（定員：70 名、申込 50 名）

[県西部地域] 企業 33 社 37 名、[県西部地域外] 企業 5 社 5 名

(2) 金属加工技術最前線セミナー

開催日：平成 30 年 9 月 3 日（月）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：演題／新技術を実現する工作機械の今

講師／三井精機工業㈱（埼玉県比企郡）

営業本部 営業推進部 精機販売推進室 主査 下村 栄司 氏

演題／精密加工技術事例

講師／㈱蒲郡製作所（愛知県蒲郡市）

代表取締役 伊藤 智啓 氏

演題／国内外の金属 3D プリンター最新動向

講師／静岡文化芸術大学 デザイン学部デザイン学科

教授 望月 達也 氏

名刺交換会

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：46 社 59 名（定員：70 名、申込 67 名）

[県西部地域] 企業 42 社 54 名、[県西部地域外] 企業 4 社 5 名

(3) システムズエンジニアリングが拓く未来セミナー

開催日：平成 30 年 10 月 22 日（月）

会 場：呉竹荘

内 容：演題／システムズエンジニアリングの基本的な考え方と宇宙開発における適用について

講師／国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

名誉教授 向井 利典 氏

演題／成功事例に学ぶシステムズエンジニアリング

～IoT 時代のシステム開発アプローチ～

講師／独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

社会基盤センター イノベーション推進部

エンジニアリンググループ 主任研究員 端山 毅 氏

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：34 社 49 名（定員：70 名、申込 56 名）

[県西部地域] 企業 30 社 45 名、[県西部地域外] 企業 4 社 4 名

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
講座受講者数	253 名	150 名	210 名以上
講座受講者満足度	93%	92%	90%以上
企業訪問数	3 社	5 社	9 社

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 30 年度の本事業は、地域中小企業の新たな経営戦略や技術開発に繋がるように、国が推進する“スマートものづくり”を念頭に置いた Connected Industries に係る講演会や金属加工に係る最新の動向、企画力、提案力向上を目的とするシステムズエンジニアリングの考え方を周知する講演会を開催してきた。これら講演会参加者の満足度は高く、施策や業界の最新動向に関心が高いことが伺えた。

昨今の新技術や経済政策等においては、次世代自動車に関連する事項が増加していることから、今後は次世代自動車センターとともに、地域課題やニーズに即した最新情報を提供する場の機会や新たな研究テーマの提供により、地域企業の技術の高度化や新規事業への取組を支援していく。

1 1 製造中核人材育成事業

決算額 2,681,540 円（予算額 2,998 千円）

＜県補助・8 市町負担金＞

【目的】

地域の基盤製造技術を体系的に理解し、前後の工程等を見通せるような現場マネジメントを担うことができる中核人材を育成する。

【実施内容】

浜松地域の輸送用機器産業を中心とした基盤製造技術の座学と現場見学や現場実習をセットにしたスタイルで講座を開催した。

ア 講座

開催日：平成 30 年 5 月 30 日（水）～ 11 月 15 日（木） 全 24 回実施予定

会 場：グランドホテル浜松、スズキ歴史館（浜松市南区）、愛知製鋼㈱知多工場（愛知県東海市）、ヤマハ発動機㈱（磐田市）、㈱木村铸造所（御前崎市）、浜松商工会議所会館、浜松工業技術支援センター（浜松市北区）、イオインダストリー㈱（湖西市）、スズキ㈱湖西工場（湖西市）、西誠㈱（浜松市西区）、浜松熱処理工業㈱浜松西工場（浜松市南区）、㈱豊田自動織機高浜工場（愛知県高浜市）、㈱オーミ（磐田市）、神谷理研㈱西テクノ工場（浜松市西区）、㈱丸山コーポレーション（浜松市南区）、㈱ユニバンス（湖西市）、ポリテクカレッジ浜松（浜松市南区）、浜松テクノカレッジ（浜松市東区）、㈱エム・エス・ケー（浜松市浜北区）、ハマニ化成㈱（浜松市西区）、トクラス㈱（浜松市西区）、ホテルクラウンパレス浜松

受講料：〔県西部地域〕 50,000 円、〔県西部地域外〕 100,000 円

参加者：37 社 37 名（定員：30 名、申込：44 名）

〔県西部地域〕 企業 37 社 37 名、〔県西部地域外〕 無し

・平成 30 年度「講座内容」

開催日	内 容	講 師
5 月 30 日（水）	開講式	
	講演①「スズキのものづくりと海外進出」	スズキ㈱ 第二生産技術部 部長 島 邦治 氏
	講演②「強い現場をめざして」	ヤマハ発動機㈱ 生産本部 BD 製造統括部 統括部長 丸井 省和 氏
	交流会（受講生＋上司の方）	
6 月 8 日（金）	金型・材料概論 製鉄現場・铸造工場見学（電 炉）	愛知製鋼㈱ 知多工場
6 月 14 日（木）	輸送機器 ものづくり概論	スズキ㈱ 技術管理部 課長 宮井 研二 氏
6 月 19 日（火）	铸造概論	ヤマハ発動機㈱ PT ユニットコンポーネント統括 部・ユニット技術部ヘッドシリン ダグループ ヘッドシリンダ製技 铸造係 奥出 智重 氏
	铸造工場見学	
6 月 28 日（木）	5S 概論	㈱木村铸造所 取締役 御前崎工場長 梶原 道哉 氏
	工場見学	
7 月 5 日（木）	現場マネージャーの心得 （講義）	関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏
	現場マネージャーの心得 （グループディスカッション）	
7 月 12 日（木）	鍛造概論	浜松工業技術支援センター 光科 鷺坂 芳弘 氏
	材料組織概論	浜松工業技術支援センター

	設備見学	材料科 科長 伊藤 芳典 氏
7 月 19 日 (木)	樹脂成形概論	イオインダストリー(株) 生産グループ 生産技術部 部長 緑川 広貴 氏
	樹脂成形工場見学	
7 月 26 日 (木)	板材成形概論	スズキ(株) 第二生産技術部 第三 車体課 専門職 飯盛 敦宏 氏
	輸送用機器完成車工程工場見 学	
	受講生交流会	
8 月 1 日 (水)	切削概論	ヤマハ発動機(株) 生産技術部機械 加工技術グループ グループリ ーダー 酒井 健司 氏
	切削現場見学	西誠(株) 代表取締役社長 西山 恭矢 氏
8 月 8 日 (水)	トヨタ式現場改善・人材育成 現場見学	(株)豊田自動織機 高浜工場
8 月 22 日 (水)	3D プリンタ概論・現場見学	(株)エム・エス・ケー 代表取締役 松浦 譲 氏
8 月 28 日 (火)	金型概論	(株)オーミ 代表取締役 大平 晃裕 氏
	現場見学	
9 月 4 日 (火)	めっき・表面処理概論	神谷理研(株) 代表取締役専務 神谷 武彦 氏
	めっき・表面処理 現場視察	
9 月 13 日 (木)	塗装概論	ヤマハ発動機(株) 外装ユニット部 カラーリンググループ グループ リーダー 村木 宏行 氏
	塗装現場見学	(株)丸山コーポレーション 専務取締役 田村 啓太郎 氏
9 月 20 日 (木)	熱処理概論	浜松熱処理工業(株) 技術部 部長 渡辺 浩太郎 氏
	熱処理現場見学	
9 月 25 日 (火)	施設見学 実習 1 日目 フライス盤、旋盤	ポリテクカレッジ浜松
10 月 3 日 (水)	実習 2 日目 フライス盤、旋盤	ポリテクカレッジ浜松
10 月 11 日 (木)	溶接概論 (講義) 溶接実習	(有)岩倉溶接工業所 代表取締役 岩倉 正雄 氏
10 月 18 日 (木)	TPM 活動紹介 現場見学	(株)ユニバンス
10 月 25 日 (木)	自動車用品製造現場見学 (樹脂真空成型)	ハマニ化成(株) 企画室 室長 鈴木 一義 氏
11 月 1 日 (木)	トクラス(株)ものづくり現場見学	トクラスプロダクツ(株) (浜松市西 区) 総務部部长 齋藤 孝弘 氏

	特別講義：独創力はどうすれば身につくか？	澤井 隆治 氏 (元トクラス㈱取締役)
11 月 8 日 (木)	品質管理概論 (講義)	関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏
11 月 15 日 (木)	修了式	
	公開講演①	(一社)日本自動車部品工業会(東京都港区)技術担当顧問 松島 正秀 氏
	公開講演②	AM システムズ㈱(長野県飯田市)代表取締役 萩本 範文 氏
	交流会 (受講生+上司の方)	

イ 修了式基調講演会 (公開)

開催日：平成 30 年 11 月 15 日 (木)

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

内 容：演題／自動車のエレクトロニクス化がもたらす産業への影響

講師／(一社)日本自動車部品工業会

技術担当顧問 松島 正秀 氏

演題／産業は回り舞台 ～次の次の次の産業を創る～

講師／AM システムズ㈱ 代表取締役 萩本 範文 氏

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：81 社 108 名 (定員：100 名、申込 143 名)

[県西部地域] 企業 69 社 94 名、[県西部地域外] 企業 12 社 14 名

ウ 平成 30 年度「製造中核人材育成講座」運営委員会

開催日：平成 30 年 12 月 25 日 (火)

会 場：(公財)浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

参加者：ヤマハ発動機㈱、㈱ユニバンス、イオインダストリー㈱、神谷理研㈱、

浜松市、浜松商工会議所、静岡県立浜松技術専門学校、

静岡県工業技術研究所、ポリテクカレッジ浜松

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
講座受講者数	30 名	37 名	30 名以上
講座新規受講社数	15 社	20 社	10 社
講座受講者満足度	97%	96%	90%以上
企業訪問数	10 社	32 社	10 社

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 30 年度の本事業は、平成 29 年 12 月に開催した「製造中核人材育成講座運営委員会」での意見を参考に、座学、現場見学、現場実習をバランスよく組み合わせたカリキュラムを策定し、事業をスタートさせた。講座には 30 名の募集定員を大幅に上回る 38 社 44 名の申し込みがあり、うち 20 社が新規企業と、企業の中核となる人材育成への関心の高さが伺えた。なお、受け入れ先企業での安全面等の問題も考慮した上で定員を設定していたが、可能な限り多くの方が受講できるよう、受

講先企業と再度協議をし、現場見学を2回に分ける等の対応を行うことで、定員を上回る37名の受講者を受け入れた。アンケートの結果からは、全受講者から「大変参考になった」「参考になった」との回答があり、今後は得た知識を活かし、現場マネジメントを担っていく事が期待される。また、本事業の目的のひとつでもある企業間交流促進においても、受講生が自発的に交流会を開催するなど積極的にコミュニケーションが図られ、14件の企業間マッチングにも繋がり、知識だけでなく人脈構築など、会社の中核を担う人材の能力育成が図られた。

今後も継続的に受講企業への訪問を実施することで、各企業の状況、課題等を把握し、財団としてのフォローアップを行っていく。

1 2 現場力向上人材育成事業

決算額 2,017,046 円（予算額 1,851 千円） <県補助・8市町負担金>

【目的】

生産リードタイム短縮や生産性向上等の現場力強化に必要な現場改善について体系的に理解し、現場マネジメントを担い得る中核人材を育成する。

【実施内容】

現場力向上に必要な下記講座を開催した。また、講座参加企業を対象に財団コーディネーターと外部アドバイザー派遣を実施し、伴走型の支援を行った。

(1) 現場改善の基礎講座

ア 中小企業の現場改善セミナー

開催日：平成30年5月24日（木）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：演題／人材から人財へ ～0点から100点の人財を育てるマネジメント～

講師／(有)中里スプリング製作所（群馬県高崎市）

代表取締役社長 中里 良一 氏

演題／技術者のための”村松方式創造工学セミナー”

講師／（元）名古屋大学大学院工学部工学研究科 機械理工学専攻

教授 村松 直樹 氏

演題／製造業の現場改善ステップ！強い工場の作り方

講師／関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：66社89名（定員：100名、申込：107名）

[県西部地域] 企業58社73名、[県西部地域外] 企業8社16名

イ 高付加価値の現場をつくる改善推進スクール（全5回）

開催日：平成30年7月6日（金）～8月2日（木）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏

内 容：ものづくりの基礎・一個流し生産、現場改善の基本、ものづくりの管理技術、コミュニケーションの重要性、これからのものづくり

参加料：[県西部地域] 10,000 円、[県西部地域外] 20,000 円

参加者：23社28名（定員：20名、申込：30名）

[県西部地域] 企業21社26名、[県西部地域外] 企業2社2名

(2) 3D 設計入門セミナー

開催日：平成 30 年 9 月 11 日（火）、18 日（火）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：Material 工房・テクノフレキス（長野県上伊奈郡）

代表 藤崎 淳子 氏

内 容：AUTODESK “Fusion360”

- ・ CAD 機能説明と基本操作実習
- ・ モデル図面化実習
- ・ CAE 実習
- ・ CAM 基本操作実習

参加料：[県西部地域] 10,000 円、[県西部地域外] 20,000 円

参加者：10 社 12 名（定員：10 名、申込：12 名）

[県西部地域] 企業 9 社 11 名、[県西部地域外] 企業 1 社 1 名

開催日：平成 31 年 1 月 22 日（火）、29 日（火）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：Material 工房・テクノフレキス 代表 藤崎 淳子 氏

内 容：AUTODESK “Fusion360”

- ・ CAD 機能説明と基本操作実習
- ・ モデル図面化実習
- ・ CAE 実習
- ・ CAM 基本操作実習

参加料：[県西部地域] 10,000 円、[県西部地域外] 20,000 円

参加者：11 社 13 名（定員：10 名、申込：13 名）

[県西部地域] 企業 10 社 12 名、[県西部地域外] 企業 1 社 1 名

(3) 現場でできる IoT 体験講座

開催日：平成 31 年 2 月 1 日（金）、8 日（金）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

内 容：演題／IoT 活用ものづくり実践！

講師／関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏

演題／Raspberry Pi プログラミング実践

講師／Material 工房・テクノフレキス 代表 藤崎 淳子 氏

参加料：[県西部地域] 15,000 円、[県西部地域外] 30,000 円

参加者：15 社 15 名（定員：15 名、申込：25 名）

[県西部地域] 企業 15 社 15 名、[県西部地域外] 企業 0 社 0 名

(4) 今ならまだ間に合う！中小製造業の「デジタルものづくり革新」

開催日：平成 31 年 2 月 28 日（木）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：演題／IoT 時代の”ものづくり”再考

講師／関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏

演題／付加価値を創出するデジタルデータ徹底活用術

講師／(株)プロノハーツ（長野県塩尻市）

代表取締役 藤森 匡康 氏

参加料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：33 社 38 名（定員：50 名、申込：44 名）

[県西部地域] 企業 40 社 35 名、[県西部地域外] 企業 3 社 3 名

(5) (公社) 日本プラントメンテナンス協会 ※財団後援事業

ア からくり改善実践講座

開催日：平成 30 年 7 月 25 日（水）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

内 容：日本古来の「からくり人形」に見られる原理（メカニズム）を用いて、お金をかけずに設備改善!! からくり改善

講 師：（公社）日本プラントメンテナンス協会

技術アドバイザー 新見 芳宣 氏

参加料：37,800 円

参加者：5 社 19 名

イ 自主保全導入講座

開催日：平成 30 年 9 月 27 日（木）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

内 容：設備に強いオペレーター 育成支援講座

講 師：（公社）日本プラントメンテナンス協会

技術アドバイザー 原田 英利 氏（元小島プレス工業㈱）

参加料：19,440 円

参加者：9 社 16 名（定員：30 名）

ウ からくり改善くふう展 2018

開催日：平成 30 年 10 月 25 日（木）、26 日（金）

会 場：ポートメッセなごや 第 3 展示館

内 容：大手企業等の製造現場のからくり改善が展示・紹介

※広報協力のみ実施

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
講座受講者数	280 名	195 名	220 名以上
講座受講者満足度	97%	97%	90%以上
現場改善実践社数	1 社	3 社	15 社
企業訪問数	7 社	5 社	8 社

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 30 年度は「高付加価値の現場をつくる改善推進スクール」や「3D 設計入門セミナー」、ワークショップ形式の「IoT 活用講座」等、現場力向上のための講座を開催し、人材の育成を図った。各講座いずれも定員を上回る申込みがあり、地域中小企業のデジタルツール活用への関心の高さが伺えた。特に、IoT 活用講座の受講企業の中では、既にシングルボードコンピュータを利用した改善に取り組み始めた例も出てきている。今後も本事業の各講座に参加した企業への訪問を継続して実施し、各社における課題の把握と現場改善、デジタル化等を推進し、生産性向上による競争力強化につなげていく。

13 自社製品開発事業

決算額 1,729,614 円（予算額 2,007 千円） <県補助・8 市町負担金>

【目的】

自社の強みを活かしたオリジナル製品を企画から販売まで一貫通貫で実践できる人材を育成し、下請け企業の自社製品開発を支援する。

【実施内容】

自社製品開発の手法を一から学び、講師とハンズオンで事業計画を作成するスクールを実施した。受講後も月 1 回のフォローアップにより、クラウドファンディングへの挑戦や製品化までを伴走型で支援した。

(1) 自社製品開発講座

ア 第 5 期 はままつ自社製品開発スクール（全 5 日）

開催日：平成 30 年 8 月 2 日（木）～9 月 6 日（木）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：㈱リバーランズ・コンサルティング（三島市）

代表取締役 坂井 正徳 氏

内 容：マイクロものづくり概論、チームビルディング、コンセプト作成（ディスカッション）、中小企業の開発事例紹介、自社の強み探索（ディスカッション）、IT フル活用講義、製品企画書作成（ディスカッション）、ストーリーボード作成（ディスカッション）、メディア戦略概論、プレスリリース作成、クラウドファンディング概論、成果発表会資料作成、リハーサル

受講料：〔県西部地域〕 50,000 円、〔県西部地域外〕 100,000 円

参加者：3 社 3 名（定員：5 名、申込：3 名）

〔県西部地域〕 企業 3 社 3 名

その他：スクール終了後、フォローアップ講座 5 回実施

<第 5 期成果発表会>

開催日：平成 30 年 9 月 27 日（木）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：㈱リバーランズ・コンサルティング 代表取締役 坂井 正徳 氏

内 容：本スクールの振り返り、成果発表、総評、交流会

受講料：〔県西部地域〕 無料、〔県西部地域外〕 1,000 円

参加者：19 社 24 名（定員：25 名、申込：27 名）

〔県西部地域〕 企業 18 社 23 名、〔県西部地域外〕 1 社 1 名

イ 第 6 期 はままつ自社製品開発スクール（全 5 日）

開催日：平成 30 年 10 月 3 日（水）～11 月 6 日（火）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：㈱リバーランズ・コンサルティング 代表取締役 坂井 正徳 氏

内 容：マイクロものづくり概論、チームビルディング、コンセプト作成（ディスカッション）、中小企業の開発事例紹介、自社の強み探索（ディスカッション）、IT フル活用講義、製品企画書作成（ディスカッション）、ストーリーボード作成（ディスカッション）、メディア戦略概論、プレスリリース作成、クラウドファンディング概論、成果発表会資料作成、リハーサル

受講料：[県西部地域] 50,000 円、[県西部地域外] 100,000 円

参加者：2 社 2 名（定員：5 名、申込：3 名）

[県西部地域] 企業 2 社 2 名

その他：スクール終了後、フォローアップ講座 5 回実施

<第 6 期成果発表会>

開催日：平成 30 年 12 月 6 日（木）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：㈱リバーランズ・コンサルティング

代表取締役 坂井 正徳 氏

内 容：本スクールの振り返り、成果発表、総評、交流会

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：15 社 27 名（定員：25 名、申込：37 名）

[県西部地域] 企業 15 社 27 名

(2) デザインマネジメント実践ワークショップ

開催日：平成 30 年 5 月 16 日（水）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：慶應義塾大学大学院

システムデザイン・マネジメント研究科 特任講師 富田 欣和 氏

内 容：「価値」に焦点を当てた企画力・発想力を高める講義とワークショップ

受講料：[県西部地域] 2,000 円、[県西部地域外] 4,000 円

参加者：19 社 22 名（定員：25 名、申込 23 名）

[県西部地域] 企業 19 社 22 名

(3) 中小企業の経営者・起業家のための新規事業のすすめ

開催日：平成 31 年 2 月 22 日（金）

会場：アクトシティ浜松 研修交流センター

内容：演題／新規事業の育成と管理

講師／ヤマハ発動機㈱ 企画・財務本部 経営企画部長 青田 元 氏

演題／新製品は地域の協力で実現した（異業種への挑戦）

講師／㈱横田輪業 代表取締役 横田 尚久 氏

演題／熱中できることと自社の強みをかけ合わせる

講師／㈱リバーランズ・コンサルティング 代表取締役 坂井 正徳 氏

演題／新製品を産み出し技術力を発信する

講師／㈱ピアックス 代表取締役 小原 林太郎 氏

演題／ゼロからイチを創るための事業計画

講師／リンジーコンサルティング㈱ 代表取締役 入野 康隆 氏

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：58 社 74 名（定員：100 名、申込 101 名）

[県西部地域] 企業 54 社 70 名、[県西部地域外] 企業 4 社 4 名

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
新規ビジネスモデル・試作品製作件数	8 件	5 件	10 件
製品化・商品化件数	1 件	1 件	2 件
企業訪問数	7 社	40 社	8 社

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 30 年度も自社製品の開発による企業価値の向上や経営基盤の強化を目指し、第 5 期及び第 6 期の「はままつ自社製品開発スクール」を開催した。参加者は、講師とともに、自社製品のコンセプト作成や製品企画に取り組み、事業計画を策定した。今回参加した企業の中には国内特許を申請し、製品化に向けて顧客に提案を開始したものがあある等、新製品開発を進めることが出来た。また、スクールの受講者から、知的財産の知識を学びたいという要望があったため、令和元年度はカリキュラムに取り入れる予定である。

平成 31 年 2 月に実施した新規事業のすすめセミナーでは、新規事業への取組手法や事業計画策定についての講義を行うとともに、当地域で実際に新製品を開発した企業に事例紹介をしてもらうなど、新規事業への取組を啓発した。

令和元年度以降もアンケート等をもとにして、より魅力的な内容に改善することで、地域の新規事業への取組の機運を高める。

6【創る】新事業開発支援

1 4 新産業創出支援事業

決算額 10,896,687 円（予算額 11,279 千円） <浜松市受託>

【目的】

市場ニーズに応える製品・技術開発を推進するため、企業間（ベンチャー企業等）の連携、標準化活用支援など、幅広い分野の情報収集やマッチング機会の創出を行うとともに、金融機関や浜松商工会議所等と連携し、成長が見込まれる分野への参入を促進させて、新たな成長産業の集積地を目指す。

【実施内容】

(1) 産業用ロボット業界参入事業

3 年間の時限プロジェクトとして、平成 29 年度に取り組んだ産業用ロボットを大テーマとし、中小企業のものづくり SIer 化を推進するべく、啓発セミナーや多方面から産業用ロボットについて学ぶ勉強会を実施することで各企業のロボットに関する知見を高める。それにより今後各社がそれぞれ自社の知見を活用し、産業用ロボットをビジネスとして取り組める方向付けを行い、中小企業等の共同研究による製品開発や事業化を支援した。

ア 産業用ロボット未来展望セミナー

開催日：平成 30 年 5 月 17 日（木）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：演題／産業用ロボットに関する最新動向とこれから

講師／(株)NTT データ経営研究所（東京都千代田区）

先端技術戦略センター長 産業戦略グループ長

パートナー 三治 信一郎 氏

演題／ロボットをどのような位置づけで導入すべきか

講師／(株)日本設計工業（浜松市北区）

代表取締役 名倉 慎太郎 氏

演題／中小企業によるロボット活用事例の紹介

講師／藤本工業(株)（浜松市浜北区）

専務取締役 藤本 武洋 氏

(株)覚光（湖西市）

生産管理部／営業部 課長 佐原 康太 氏

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：84 社 146 名（定員：100 名、申込：173 名）

[市内] 企業 60 社 97 名、[市外] 企業 24 社 49 名

イ 産業用ロボットビジネス参入基礎講座

開催日：平成 30 年 7 月 24 日（火）～平成 31 年 3 月 5 日（火）（全 9 回）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

内 容：協働ロボットの導入意義、産業用ロボットの活用の現状と課題、ロボットメーカーの動向・ニーズ紹介、SIer から見たロボット導入、ロボット導入支援センター見学 など

受講料：[市内] 20,000 円、[市外] 40,000 円

参加者：23 社 24 名（定員：20 名、申込：23 名）

[市内] 企業 15 社 16 名、[市外] 企業 8 社 8 名

・平成30年度「講座内容」

開催日	内 容	講 師
7月24日（火）	協働ロボットの導入意義について	カワダロボティクス㈱（東京都台東区）、グローリー㈱（兵庫県姫路市）
8月29日（水）	産業用ロボットの活用の現状と課題 （1）	㈱汐見製作所（湖西市）
9月21日（金）	産業用ロボットの活用の現状と課題 （2）	藤本工業㈱（浜松市浜北区）
10月19日（金）	産業用ロボットの活用の現状と課題 （3）	㈱覚光（湖西市）
11月16日（金）	産業用ロボットの活用の現状と課題 （4）	カナエ工業㈱（富士宮市）
12月14日（金）	ロボットメーカーの動向・ニーズ紹介	ヤマハ発動機㈱ ロボティクス事業部（磐田市）
1月25日（金）	SIer から見たロボット導入	㈱日本設計工業（浜松市北区）、㈱アラキエンジニアリング（浜松市中区）
2月12日（火）	ロボット導入支援センター見学	㈱さがみはら産業創造センター（神奈川県相模原市）
3月5日（火）	まとめと産業用ロボットビジネス参入の展望	松栄テクノサービス㈱（愛知県長久手市）

ウ 標準化活用支援

標準化活用支援パートナーシップ制度（経済産業省所管）を活用し、中小企業の技術開発や新市場の創出を支援する。

(2) ハッカソン事業

ア AWS 勉強会・浜松市モノづくりハッカソン説明会

開催日：①平成30年10月9日（火） ※東京会場

②平成30年10月30日（火） ※浜松会場

会 場：①Amazon 新オフィス

②浜松市舞阪サテライトオフィス

内 容：事業説明、勉強会など

参加費：無料

参加者：①11名（定員：25名、申込：20名）

②28名（定員：25名、申込：36名）

イ 浜松市モノづくりハッカソン

開催日：平成30年11月10日（土）、11日（日）

会 場：浜松市舞阪サテライトオフィス

内 容：光×IoTをテーマに、浜松市の暮らしを豊かにするアイデアをチーム毎に立案し、新しい商品のプロトタイプを製作する。

参加費：無料

参加者：39名（定員：50名、申込：56名）

その他、ハッカソンイベント終了後も試作開発支援を継続的に行う。

(3) 新産業創出促進事業

ア 技術ニーズ説明会

企 業：ダイキン工業(株) (滋賀県草津市)

開催日：平成 30 年 8 月 23 日 (木)

会 場：グランドホテル浜松

内 容：ニーズ説明会 (空調機器、計測センシング技術など)

※浜松にて説明会を開催し、地域企業との個別面談を経てエントリー

参加者：21 社 27 名 [市内] 企業 19 社 23 名、[市外] 企業 2 社 4 名

エントリー社数：11 社 ※平成 30 年 9 月 7 日 (金)

個別面談社数：6 社 ※平成 30 年 10 月 5 日 (金)、11 日 (木)

富士工業(株) (浜松市南区)、(株)スズイチ (浜松市西区)、(株)ゾディアック (浜松市中区)、(株)オプトメカトロ (浜松市中区)、(株)アルモニクス (浜松市中区)、浜松ホトニクス(株) (浜松市中区)

成 果：商談成立 2 社 2 案件

商談成立企業：富士工業(株)／試作品開発中

(株)ゾディアック／共同開発中

※平成 31 年 3 月末時点で協業に向け検討中

イ マッチング創出

<活動内容>

企業間マッチング

・地域企業のニーズ、シーズ情報の収集

・地域外企業のニーズ収集

・Linkers エントリー提案：6 案件 7 社 ※財団関与

パイプテック(株) (浜松市中区)、(株)アスタワン (浜松市中区)、静岡大学、ディスク・テック(株) (浜松市中区)、リンクウィズ(株) (浜松市中区)、(株)美浜工業 (浜松市浜北区)、(株)モアソンジャパン (浜松市中区)

(4) 共同研究事業費補助金

国や地方公共団体等の競争的資金獲得を目指して、浜松市内の中小企業者等が連携して取り組む新技術・新製品開発の事業化研究に対して補助金を交付する。

公募期間：[1 次] 平成 30 年 4 月 16 日 (月) ～5 月 31 日 (木)

[2 次] 平成 30 年 7 月 17 日 (火) ～8 月 17 日 (金)

対 象：浜松市内の中小企業者 2 者以上のグループ

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 500 千円

対象経費：材料費・消耗品費、外注費、賃借料、講演会・勉強会等への謝金・旅費など

申請件数：[1 次] 1 件、[2 次] 2 件

採択件数：[1 次] 1 件、[2 次] 1 件

事業期間：交付決定日～平成 31 年 2 月 28 日 (木)

交付決定額：[1 次] 500,000 円 (1 件)、[2 次] 500,000 円 (1 件)

交付確定額：369,190 円 (2 件)

< 交付企業一覧 >

(単位：円)

1 次	企業名	成和第一産業(株) (浜松市南区) (有)丸生パイル (浜松市東区) 鈴木晒整理(株) (浜松市中区)	確定額	316,790
	[内容]	遠州産地が誇るシャトル織機による「浜松 Chinos」の開発		
	[成果と今後]	地元産の生地によるチノパンが完成し、やрмаいかブランドにも認定された。インターネット・実店舗での販売による拡販に努める。		
2 次	企業名	(株)TAK システムイニシアティブ (浜松市浜北区) パイフォトンクス(株) (浜松市東区)	確定額	52,400
	[内容]	迅速ガンマー線放射分布可視化装置開発事業		
	[成果と今後]	装置の基礎となる、安価で小規模な装置でガンマー線を検知できる仕組みを確立。改めてニーズの確認や装置の改良を行い、早期の事業化を目指す。		
計				369,190

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
新規プロジェクト立ち上げ件数	1 件	0 件	1 件以上
共同研究支援補助金採択件数	4 件	2 件	4 件
技術連携マッチング件数	4 件	6 件	5 件

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点

【年度総括】

産業用ロボット業界参入事業については、平成 29 年度からの長期プロジェクトとして実施しており、2 年目となる平成 30 年度は、「ものづくりで培った技術を活用し、浜松地域が産業用ロボットを使いこなす技術・システムの集積地となる」を大目標として、輸送用機器関連産業を補う新たな産業の育成に取り組んだ。過去に事業を実施した際、ロボットの知識を学ぶだけではその後のビジネスに繋がらない傾向にあったことから、本年度は、自社で産業用ロボットを導入し、活用ノウハウを蓄積してもらうという方針で事業を構築した。その結果、開催したセミナー・講座ともに定員を大幅に上回る参加者があり、本地域におけるロボット産業参入への機運を高めることが出来た。令和元年度は、継続的な支援方法のあり方について検討するとともに、産業用ロボットが使用できる人材の育成に焦点を合わせて事業を行っていく。

ハッカソン事業については、平成 30 年 11 月に開催したイベントは定員以上の応募があり、参加者の反応も概ね好評であった。また、最優秀チームに対する開発支援の結果、地元企業や店舗の協力のもと、平成 31 年 3 月に実証実験を行うことができ、イベントとして一定の成果が出たものと考えている。ただし、ハッカソンの結果がビジネスにまでは結びつかず、開発支援もソフトウェアが占める要素が多かったことから当財団の関与も非常に限定的なものとなり、財団の特色を活かせたとは言えなかった。

共同研究事業費補助金については、採択となった 2 件の進捗管理を行い、それぞれ目標としていた開発をすることができた。今後、開発した製品の販路開拓等のフォローアップを行っていく。令和元年度はマッチング支援や各種補助金制度による支援により、共同研究による事業化を推進していく。

15 国内事業化可能性調査補助事業

決算額 2,398,972 円（予算額 4,563 千円）

＜浜松市受託＞

【目的】

新たな技術や製品の円滑な事業化に向けた「事業化可能性調査」を促進する。

【実施内容】

(1) 国内事業化可能性調査費補助金

新技術や製品の事業化及び販路開拓のための事業化可能性調査に対して補助金を交付した。

公募期間：[1次] 平成30年4月16日（月）～5月31日（木）

[2次] 平成30年7月17日（火）～8月17日（金）

対 象：市内に住所又は主たる事務所を有する中小企業者又は個人事業者

市内に住所又は主たる事務所を有する企業を設立し、新たに事業を開始しようとする中小企業者又は個人事業者

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 500 千円

対象経費：材料費・消耗品費、外注費、国内外において実施する調査委託料、専門家への相談料、国内調査に係る旅費

申請件数：[1次] 5 件、[2次] 3 件

採択件数：[1次] 4 件、[2次] 2 件

事業期間：交付決定後～平成31年2月28日（木）

交付決定額：[1次] 1,629,700 円（4 件）、[2次] 1,000,000 円（2 件）

交付確定額：[1次] 1,531,057 円（4 件）、[2次] 811,939 円（2 件）

＜交付企業一覧＞

[1次]

（単位：円）

1	企業名	(株)ファーマリサーチ（浜松市北区）	確定額	500,000
	[内容]	カニクイザルを用いた萎縮型加齢黄斑変性モデルの立ち上げ		
2	[成果と今後]	実験の結果、想定通り薬効評価が可能であることが確認できた。今後は学会発表や論文投稿の準備を進めるが、すでに製薬会社からの引合いを受けており、事業化に高い期待が持てる。		
	[内容]	IoT デバイスと AI を活用した商業施設のゴミ袋交換業務負担軽減サービスの市場調査		
3	企業名	(株)アスタワン（浜松市中区）	確定額	500,000
	[内容]	IoT デバイスと AI を活用した商業施設のゴミ袋交換業務負担軽減サービスの市場調査		
4	[成果と今後]	当初見込んでいたコンビニ等商業施設におけるニーズはほとんどないが、工場における資材・材料の残量確認という新たな強いニーズがあることが確認できたため、ターゲットを変更して製品化を進める。		
	[内容]	超音波インライン計測機器（新モデル）の新規市場開拓調査		
5	企業名	富士工業(株)（浜松市南区）	確定額	337,801
	[内容]	超音波インライン計測機器（新モデル）の新規市場開拓調査		
6	[成果と今後]	新規分野への進出を目的としたヒアリングの結果、想定と違う機能が重視されていることが判明。従来品と異なる測定方式の新製品の開発を目指すこととなった。		
	[内容]	超音波インライン計測機器（新モデル）の新規市場開拓調査		
7	企業名	(株)スズイチ（浜松市中区）	確定額	193,256
	[内容]	カーボンと異種材料との接着剤開発に伴う可能性調査		
	[成果と今後]	試験の結果、CFRP 等の接着が難しいと思われる材質でも接着可能な接着剤が開発できたが、性能的・価格的に不足する面があるため		

	今後は引き続き問題点の解消を進め、開発品のユーザー評価まで行う予定。
計	1,531,057

〔2次〕

1	企業名	(株)Stella (浜松市西区)	確定額	415,450
	〔内容〕	顕微鏡への MEMS ミラー実装原理実証実験		
	〔成果と今後〕	試作品は見込んだとおりの原理を用いて完成した。今後は切り出したサンプルを回収する付帯装置の製作を行い、浜松医大での試験運用を視野に入れて開発を進める。		
2	企業名	古橋織布(有) (浜松市西区)	確定額	396,489
	〔内容〕	遠州織物で作るパジャマの国内市場調査及び類似品調査		
	〔成果と今後〕	市場調査や類似品調査を踏まえた試作品を開発した。今後は贈答品としての市場投入を見据え、ブランディングやパッケージの作り込みを経ての販路拡大を目指す。		
計				811,939

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
補助金申請件数	15 件	8 件	9 件
補助金提案採択件数	13 件	6 件	9 件

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 30 年度の国内事業化可能性調査費補助事業は 6 件の採択を行い、各社が新技術や製品の事業化に向け、試作品の開発、市場調査、販路開拓等に取り組んだ。その結果、各社とも明確な目的に基づいた調査ができており、それを受けた今後の方針決定がなされていることが確認できた。採択企業の製品には、既に引き合いがあるものもあり、今後の事業化が期待される。

国内事業化可能性調査費補助事業は平成 30 年度をもって再編となるが、今後も引き続き医工連携拠点との協力や各種補助制度の活用も含めたフォローアップを行い、事業化を支援する。

1 6 国等の研究開発事業化支援事業

決算額	94,292,316 円 (予算額 106,853 千円)	<国補助>
決算額	8,995,642 円 (予算額 9,424 千円)	<国委託>
決算額	305,598 円 (予算額 0 千円)	<自主財源>

【目的】

戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）をはじめ、国、県、市などの各種競争的資金を活用して、中小企業の新技術開発や経営基盤強化を促進する。

【実施内容】

(1) 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業） ※国補助事業

サポイン事業の事業管理機関として、「中小企業ものづくり高度化法」の認定を受けた中小企業の基盤技術の高度化を目的とする産学官による研究開発事業を支援した。

ア 新規提案申請支援

財団が管理法人として 3 件申請

- ・補助金獲得セミナー内個別相談：14 件
- ・申請相談：8 件
- ・採択企業：1 件

イノベーター・デザイン&テクノロジー(株) (浜松市浜北区)

イ 事業管理機関としての支援

(ア) 農林業のニーズに応える小型・低コストバイオマスガス化発電システムの開発

研究機関：静岡製機(株) (袋井市)、静岡大学、静岡県工業技術研究所

実施期間：平成 28 年度～30 年度 (3 年目)

補助金交付決定額：22,497,586 円

補助金交付確定額：22,461,368 円

(イ) CFRP を用いた複雑形状部品の圧縮成形技術の開発

研究機関：(株)キャップ (森町)、フタバ産業(株) (愛知県岡崎市)

静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター、静岡大学

実施期間：平成 29 年度～31 年度 (2 年目)

補助金交付決定額：29,942,861 円

補助金交付確定額：27,789,722 円

(ウ) エネルギー効率改善に寄与する電解水を用いたスケール析出抑制除去装置の開発

研究機関：イノベーター・デザイン&テクノロジー(株)、静岡大学

実施期間：平成 30 年度～32 年度 (1 年目)

補助金交付決定額：44,932,343 円

補助金交付確定額：44,041,226 円

(2) 地域中核企業創出・支援事業 ※国委託事業

経済産業省の委託を受け、地域経済を活性化するため地域を牽引している／できる「地域中核企業」を創出し、その成長を支援する事業を実施する。

ア 新規提案申請支援

財団が事業管理機関として 2 件申請

- ・採択企業：2 件 (ハンズオン型)
(株)トヨコー (富士市)
国本工業(株) (浜松市東区)

イ 事業管理機関としての支援

(ア) 革新的なレーザークリーニング装置及び工場屋根塗装工法の事業化促進事業

管理機関：フォトンバレーセンター

支援企業：(株)トヨコー

事業概要：レーザー照射による独創的な塗膜除去のレーザークリーニング装置の操作性、安全機能の向上を進めるとともに、標準化事業で検討されたレーザー照射による防錆処理等に関する課題の解決に取り組んだ。併せて、同社の蘇生工法による工場屋根の防水・断熱・補強工事の海外進出について、市場調査を行った。

事業期間：平成 30 年 6 月 1 日 (金)～平成 31 年 3 月 29 日 (金)

委託金額：5,912,417 円

(イ) エンジン部品で蓄積した、オンリーワンの技術を用いた、次世代自動車部品の販路開拓支援事業

管理機関：次世代自動車センター

支援企業：国本工業㈱

事業概要：同社のコア技術であるパイプ加工技術を活用し、モジュールの構成部品をターゲットとした製品を開発してきた。他方、中小企業の課題として販路拡大があることから、本事業では我が国最大規模の「自動車部品&加工 EXPO」に出展することで、商談件数 10 件、成立 1 件を目指す。

事業期間：平成 30 年 5 月 28 日（月）～平成 31 年 3 月 31 日（日）

委託金額：3,083,225 円

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
サポイン提案支援件数	3 件	3 件	2 件
サポイン提案採択件数	1 件	1 件	1 件
サポイン継続案件事業管理業務	2 件	2 件	2 件
企業訪問数	2 社	7 社	4 社

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 30 年度は、関東経済産業局や中小機構アドバイザーと連携・調整しながら新規 3 案件のサポイン申請支援を実施し、そのうち 1 件が採択された。また、地域中核企業創出・支援事業については 2 件が採択された。

それぞれ、適切な事業執行がなされるよう、事業管理機関として、進捗管理、フォローアップを行ってきた。特にサポイン事業では、継続案件の中間評価において、次年度も事業が継続できる評価となり、平成 30 年度に終了する事業についても完了報告が受理された。

令和元年度分については、関係する大学等研究機関を早期に訪問し、5 件のサポイン申請について、採択に向けての支援を行っている。

1 7 競争的資金等獲得支援事業

決算額 383,672 円（予算額 390 千円） <県補助・8 市町負担金>

【目的】

戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）をはじめ、国、県、市町の各種競争的資金の獲得を支援することで、中小企業の新技術開発や経営基盤強化を促進する。

【実施内容】

サポイン、ものづくり補助金、経営革新事業等の競争的資金獲得を目指す中小企業を支援するため、セミナーや個別相談会を開催した。

(1) ものづくり中小企業のための補助金獲得セミナー

開催日：平成 30 年 4 月 16 日（月）

会 場：浜松商工会議所会館

内 容：経済産業省に関わる補助金等の施策

新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の施策
 科学技術振興機構（JST）における産学連携・技術移転の取組
 静岡県産業振興財団の施策
 浜松市の新産業創出事業費補助金制度

（公財）浜松地域イノベーション推進機構の補助金制度

受講料：〔県西部地域〕無料、〔県西部地域外〕1,000 円

参加者：57 社 66 名（定員：80 名、申込：70 名）

〔県西部地域〕企業 56 社 64 名、〔県西部地域外〕企業 1 社 2 名

個別相談会：14 社

（2）サポイン補助金獲得セミナー

開催日：平成 30 年 11 月 19 日（月）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：サポイン事業の説明

経済産業省の来年度予算の説明

座談会「技術がかわる・会社がかわる・世界がかわる」

～申請から事業終了までの経緯と裏話～

受講料：〔県西部地域〕無料、〔県西部地域外〕1,000 円

参加者：39 社 48 名（定員：60 名、申込：51 名）

〔県西部地域〕企業 34 社 43 名、〔県西部地域外〕企業 5 社 5 名

個別相談会：9 社

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
セミナー等参加企業数	143 社	96 社	30 社
補助金採択支援企業数（サポイン）	1 件	3 件	3 件

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 30 年 4 月には、各機関の補助金公募時期に合わせ、「ものづくり中小企業のための補助金獲得セミナー」を開催し、セミナー参加企業の一層の補助金獲得機会創出のため、新たに新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）や科学技術振興機構（JST）からの事業説明も実施することで、セミナーの内容を充実させた。

また、第 3 四半期には、国の競争的資金の中で利便性が高く、当財団が積極的に推進するサポイン事業に特化した「サポイン補助金獲得セミナー」を開催した。関東経済産業局によるサポイン事業の説明やサポイン事業採択実績のある鈴覚樹の辰巳氏を招いての座談会を開き、セミナー参加企業へ補助金の活用による新技術の事業化を呼び掛けた。

令和元年度も、地域企業へのヒアリング等を通じて、個々の企業に応じたきめ細かな対応を実施し、競争的資金獲得に向けて支援を行っていく。

18 はままつ次世代光・健康医療産業創出事業

決算額 500,540 円（予算額 500 千円）

＜財団自主＞

【目的】

各地域の産学官連携推進機関との広域的な連携を図るとともに、地域企業における国等の各種研究開発事業による成果の発信や国内外の市場に向けた事業展開を支援する。

【実施内容】

「はままつ次世代光・健康医療産業創出事業（はままつ医工連携拠点事業）」の活動計画を実現するため、具体的には拠点長及び事業総括として2名を浜松医科大学内に事務局を置く「医工連携拠点」に派遣し、提案機関の一つとして活動を支援した。

(1) 2018 日米医療機器イノベーションフォーラム静岡

開催日：平成 30 年 11 月 6 日（火）、7 日（水）

会 場：グランシップ（静岡県コンベンションアーツセンター）

内 容：学生&シリコンバレー起業家交流会（6 日）

懇親会内展示会（7 日）

(2) メディカルイノベーションフォーラム 2018

開催日：平成 30 年 12 月 5 日（水）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

内 容：①基調講演「ニッチトップになるために知財を活用する方法論」

弁護士法人 内田・鮫島法律事務所（東京都港区）

代表 鮫島 正洋 氏

②情報交換会

【年度総括】

平成 30 年 5 月に事業運営委員会を開催し、平成 29 年度事業報告及び平成 30 年度事業計画について報告された。また、平成 30 年度も、「医工連携スタートアップ支援事業（新規医工連携プロジェクト補助事業）」の公募をはじめ、計画通り医療関連分野の事業化支援の取り組みが実施できた。

なお、はままつ医工連携拠点自体の具体的な活動成果及び平成 30 年度の事業報告などについては、「はままつ医工連携拠点 事業運営委員会」にて報告されるものである。

19 地域産業活性化支援事業

決算額 1,618,064 円（予算額 1,000 千円）

＜財団自主＞

【目的】

各種事業を通じて地域企業の経営基盤強化を図ることにより、浜松地域（静岡県西部）の産業経済の発展に寄与することを目的とする。

【実施内容】

浜松地域の産業経済の発展に寄与する浜松市受託事業及び県西部産業支援事業（広域事業）を補完する施策を実施した。

また、わが国の産業や経済構造の急激な環境変化に加えて、多様化する地域経済や地域企業のニーズに迅速かつ効果的に対応する施策を実施及び検証した。

(1) 浜松地域（静岡県西部）の産業経済の発展に寄与する事業

ア 静岡県 IoT 活用研究会連携業務

同研究会は、企業、大学、産業支援機関、行政等が相互に「インダストリー 4.0」をはじめとする事業活動における IoT の活用に関する情報提供や意見交換、交流の場を設置することにより、「事業活動の連携=つながる」をテーマに、経営力の向上やビジネス機会の創出に寄与することを目的としている。本機構は、事務局を担う静岡県経済産業部商工業局をはじめとする 4 つの団体のひとつとして、事務局業務をサポートした。

①総会：平成 30 年 3 月 13 日（火）

平成 29 年度事業報告および平成 30 年度事業計画発表

総会：平成 31 年 3 月 27 日（水）

平成 30 年度事業報告および平成 31 年度事業計画発表

②研究会活動（4 分科会による研究活動）

- ・エネルギーデータ利活用：会員企業の個別実証試験に向け検討
- ・生産効率化：会員企業の個別実証試験に向け検討
- ・物流効率化：第 1 回部会／平成 30 年 7 月 6 日（金）33 社 44 名
- ・企業間データ連携：会員企業の個別実証試験に向け検討
- ・ビジネスマッチング：IoT 応援ツール展示会として実施

③IoT 活用事例普及事業

- ・製造業向け IoT 実践セミナー：平成 30 年 10 月 5 日（金）～6 日（土）
- ・IoT 応援ツール展示会 in 沼津：平成 30 年 11 月 6 日（火）
- ・IoT 応援ツール展示会 in いわた：平成 31 年 1 月 24 日（木）
- ・個別相談会：3 社
- ・工場見学会：平成 30 年 10 月 5 日（金）

武州工業㈱（東京都） 参加者 20 名

④産学連携・技術向上

- ・技術講習会：(1) 静岡県立大学「ふじのくに」みらい共有センター（COC）
「産業の新潮流と人口減少社会研究会」との連携
(2) 「産業の新潮流と人口減少社会研究会」と「静岡経済同友会」
との情報交換

イ 海外経済交流推進事業

浜松市、ジェトロ浜松、浜松商工会議所と連携して、市内中小企業の「海外ビジネス展開」を支援するため、浜松市海外経済交流推進協議会事業に対して負担金を支払い、また、産業支援機関として各種事業のフォローアップを行った。

- ・浜松市海外経済交流推進協議会負担金支出

平成 27 年度：500 千円、平成 28 年度：300 千円

平成 29 年度：100 千円、平成 30 年度：100 千円

- ・海外経済交流推進協議会：平成 30 年 4 月 19 日（木）
- ・投資環境セミナー（ベトナム、インドネシア、タイ、インド）
- ・現地でのセミナー、意見交換会及び交流会（ハノイ、ジャカルタ、バンコク）
- ・展示商談会への出展（タイ）
- ・投資環境視察ミッション派遣（インド）

ウ その他事業

本事業の目標を達成するため、必要に応じて新規事業を実施するとともに、関係機関との連携を強化した。

(2) 国等の最新動向などに対応したトライアル事業

国等の動向及び地域経済や地域企業のニーズに対応する迅速かつ効果的な支援施策を実施するため、各機関との連携を密に情報収集を行った。

また、次年度の新規支援施策の有効性を検証しつつ、浜松市受託事業及び広域事業へのステップアップ事業を検討した。中でも、首都圏にある「経営支援 NPO クラブ」と連携し、トライアル事業として販路開拓に関する新規事業を実施した

ア 大手企業とのニーズマッチング支援事業

大手企業の販路に対して強いネットワークを持つ「経営支援 NPO クラブ」と業務委託契約を行い、単独での販路開拓が困難な地域企業の販路開拓支援を実施した。

- ・財団が特徴的な地域企業リストアップ：平成 30 年 7 月
 - ・経営支援 NPO クラブとともに地域企業 2 社選定：平成 30 年 8 月
※沢根スプリング(株)（浜松市南区）、(株)美浜工業（浜松市浜北区）
 - ・経営支援 NPO クラブ 2 社ヒアリング：平成 30 年 9 月 26 日（水）
 - ・沢根スプリング(株)へ訪問（NPO クラブ同行）：平成 30 年 11 月 5 日（月）
 - ・(株)美浜工業へ訪問（NPO クラブ同行）：平成 30 年 12 月 12 日（水）
- 成果：沢根スプリング(株) 2 社マッチング
(株)美浜工業 2 社マッチング

【年度総括】

本事業では、国等の動向や経済情勢に合わせ、トライアル事業を立案・実施している。平成 30 年度は、地域企業が保有する固有技術を求める大手企業とのマッチングを推進するため、大手企業とのネットワークが強い「経営支援 NPO クラブ」と業務委託契約を結び、単独での販路開拓が困難な地域企業（2 社）の販路開拓支援を実施し、試作製作など、一定の成果につながった。

また、静岡県 IoT 活用研究会については、適宜連携を図って地域企業への還元策を研究会と共に模索している状況である。浜松市海外経済交流推進事業に対しては、負担金を交付し、浜松市内中小企業の「海外ビジネス展開」に対して側面支援を実施した。

令和元年度も、新規事業のトライアル実施など、国をはじめとした地域経済の動向に合わせた積極的な事業展開を図っていく。

7【拓く】販路開拓支援

20 ものづくり販路開拓支援事業

決算額 9,704,090 円（予算額 11,000 千円）

＜浜松市受託＞

【目的】

浜松市において製造業を営む中小企業者等の自社製品・技術の新たな販路開拓を支援する。また、浜松地域の高い技術力と産業集積を国内外に発信することにより、「ものづくりのまち・浜松」の存在感を高め、浜松地域におけるビジネスチャンスを創出する。

【実施内容】

(1) ものづくり販路開拓事業費補助金（予算 10,000 千円）

国内外（県内を除く）で開催される各種展示商談会に自社製品・技術を出展する浜松市内の中小企業者に対し、出展に要する経費の一部を補助金として助成した。助成額は、国内で開催される展示商談会の場合 20 万円、海外で開催される展示商談会の場合 50 万円を上限とし、補助対象経費総額の 2 分の 1 以内とした。

なお、2 者以上の企業が同一展示商談会に隣接出展する場合は上限額を 5 割り増しとした。また、国内外の特定の展示商談会に出展する場合は、3 年連続での出展補助を可能とし、販路開拓による成果の向上に繋げた。

公募期間：[1 次] 平成 30 年 4 月 16 日（月）～5 月 31 日（木）

[2 次] 平成 30 年 6 月 18 日（月）から随時募集

対 象：浜松市内に主たる事業所を有し、製造業、情報通信業のうち情報サービス業を営む中小企業者。又は、上記に該当するものを 1 者以上含み、研究開発を目的に 2 者以上の者で組織された共同体

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 200 千円（国内）・500 千円（海外）

対象経費：出展費用、展示装飾費、通信運搬費、人件費など

事業期間：平成 30 年 4 月 1 日（日）～平成 31 年 3 月 31 日（日）

ア 国内：[1 次]

申請件数：28 件

採択件数：28 件

交付決定額：5,391,000 円（28 件） ※うち、2 件出展中止

交付確定額：4,873,000 円（26 件）

：[2 次]

申請件数：6 件

採択件数：6 件

交付決定額：1,200,000 円（6 件）

交付確定額：1,200,000 円（6 件）

＜交付企業一覧＞

（単位：円）

1 次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	鈴木晒整理(株) (浜松市中区)	Premium Textile Japan 2019 Spring/Summer	※出展中止
2	(株)テクニカルサポート (浜松市北区)	人とくるまのテクノロジー展 2018 横浜	200,000

3	第一工業(株) (浜松市東区)	人とくるまのテクノロジー展 2018 横浜	197,000
4	(株)インテグラ技術研究所 (浜松市中区)	INTER MOLD 名古屋 2018	200,000
5	杉田工業(株) (浜松市北区)	日本ものづくりワールド 2018	200,000
6	(株)ジーアクト (浜松市浜北区)	第9回ヘルスケア・医療機器 開発展	200,000
7	グローバル・リンクス・テ クノロジー(株) (浜松市西 区)	第91回日本薬理学会年会付設 展示会	200,000
8	(株)丸文製作所 (浜松市中区)	施設園芸・植物工場展 2018 (GPEC)	200,000
9	(株)ANCHOR (浜松市東区)	SPORTEC 2018	200,000
10	(株)充英アート (浜松市東区)	WonderFestival 2018 [Summer]	93,000
11	(有)アイ・プランニング (浜松市中区)	第86回東京インターナシヨナ ルギフトショー 秋 2018	200,000
12	(株)栄商会 (浜松市東区)	第86回東京インターナシヨナ ルギフトショー 秋 2018	200,000
13	スナオ電気(株) (浜松市東区)	第8回農業ワールド	200,000
14	パイフォトンクス(株) (浜松市東区)	緑十字展 2018	200,000
15	エグジーテック(株) (浜松市中区)	モノづくりフェア 2018	200,000
16	(株)マイクロフィックス (浜松市東区)	JIMTOF 2018	100,000
17	(株)エンブレム (浜松市東区)	メッセナゴヤ 2018	192,000
18	(有)雪山シボリ (浜松市東区)	新価値創造展 2018	116,000
19	鈴木電機工業(株) (浜松市北区)	高機能素材 Week 2018	200,000
20	ノブオ電子(株) (浜松市西区)	国際画像機器展 2018	175,000
21	(有)オグショー (浜松市東区)	東京オートサロン 2019	200,000
22	ヘルツ電子(株) (浜松市北区)	第2回スマート工場 EXPO	200,000
23	(株)モールド技研 (浜松市浜北区)	第11回オートモーティブワー ルド	200,000
24	(株)エヌエスティー (浜松市北区)	第11回オートモーティブワー ルド	200,000

25	アート電子(株) (浜松市北区)	第 48 回ネプコンジャパン	200,000
26	浜松カーボニクス(株) (浜松市中区)	nano tech 2019	200,000
27	マルゲンファーム竹内 (浜松市中区)	第 53 回スーパーマーケットト レードショー 2019	※出展中止
28	オーム電機(株) (浜松市北区)	Medtec Japan 2019	200,000

2 次	企業名	展示商談会	交付確定額
29	(株)エリジオン (浜松市中区)	FOOD FACTRY 2018	200,000
30	ハマニ化成(株) (浜松市西区)	第 86 回東京インターナショナル ルギフトショー秋 2018	200,000
31	ATV(株) (浜松市北区)	2018 楽器フェア	200,000
32	SSI(株) (浜松市中区)	第 3 回ロボテックス ロボット開発・活用展	200,000
33	(株)イーモア (浜松市中区)	第 35 回フランチャイズ・ショ ー2019	200,000
34	(株)蔦木 (浜松市南区)	第 23 回機械要素技術展	200,000

イ 海外 : [1 次]

申請件数 : 6 件
採択件数 : 6 件
交付決定額 : 2,765,000 円 (6 件)
交付確定額 : 2,467,000 円 (6 件)

: [2 次]

申請件数 : 2 件
採択件数 : 2 件
交付決定額 : 734,000 円 (2 件)
交付確定額 : 734,000 円 (2 件)

< 交付企業一覧 >

(単位:円)

1 次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	アカテリアル(株) (浜松市中区)	NIWeek 2018	265,000
2	(株)浜松ファーマリサーチ (浜松市北区)	2018 BIO International Convention	500,000
3	古橋織布(有) (浜松市西区)	「The Japan Observatory」 at Milano Unica 2019 AW	500,000
4	東海楽器製造(株) (浜松市南区)	ミュージックチャイナ 2018	500,000
5	(株)鈴木楽器製作所 (浜松市中区)	ミュージックチャイナ 2018	500,000

6	リンクウィズ(株) (浜松市中区)	METALEX 2018	202,000
---	----------------------	--------------	---------

2 次	企業名	展示商談会	交付確定額
7	QUICCOSOUND(株) (浜松市北区)	The 2019 NAMM Show	500,000
8	(株)ブルックマンテクノロジー (浜松市中区)	SPIE Defence+ Commercial Sensing Expo (DCS) 2018	234,000

【成果指標】

地域	項目	実績		指標
		平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
国内	①出展件数	31 社	32 社	35 社
	②ブース来場者数	494 名	272 名	一名
	③名刺交換数	103 名	111 名	一名
	④商談件数	15 件	10 件	一件
	⑤商談成立件数	52 件	38 件	50 件
海外	①出展件数	5 社	8 社	6 社
	②ブース来場者数	1,280 名	301 名	一名
	③名刺交換数	33 名	46 名	一名
	④商談件数	5 件	19 件	一件
	⑤商談成立件数	5 件	22 件	6 件

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点

※①の実績数字は出展後の報告書受領企業数

※②～④の実績数字は 1 社平均の数字

【年度総括】

平成 30 年度の展示会補助金は、国内 32 社、海外 8 社に対して補助金を交付し、財団コーディネーター及びプロパースタッフによる展示会出展サポート支援並びに販路開拓支援を随時実施した。本事業は、平成 29 年度よりも申請企業が増えており、経営コーディネーターを中心とした企業訪問や財団施策ガイドの配布による財団支援メニューの PR 効果であるとともに、地域企業が新たなビジネスチャンスを求めて販路開拓に力を入れていると考察する。また、出展企業の成果としては、国内展示会 38 件、海外展示会 22 件の商談の成立につながった。

令和元年度の本事業については、予算を拡充し、地域企業の新規販路開拓に向けた支援を強化するとともに、展示会出展後のサポート支援も併せて実施していく。

2 1 販路開拓・マッチング支援事業

決算額 1,170,953 円（予算額 2,000 千円）＜財団自主＞

【目的】

浜松地域の中小企業に対して、大手企業等との商談やマッチングの機会を提供し、販路開拓・受注獲得などのビジネスチャンスを創出するとともに、事業化につながる新たな需要の掘り起こしを図る。

【実施内容】

(1) 特定メーカー企業向け商談会（浜松商工会議所と連携事業）

浜松地域の主要産業である輸送機器関連分野の受注拡大、更には既存技術の応用による新事業分野への展開に向け、商工会議所との連携により、特定のメーカー企業を対象とした個別商談会を実施し、浜松地域企業の販路開拓及びビジネスマッチングを支援した。

商談相手は自動車関連企業をはじめとする県外の大手メーカーにターゲットを絞った。商談会の開催に当たっては、対象となる大手メーカー企業の社内または近隣施設での実施を予定し、参加企業は三遠南信地域の企業 41 社および 2 団体を公募の上選考した。

開催日：平成 30 年 6 月 21 日（木）、22 日（金）

会 場：(株)IHI 横浜事業所ゲストハウスホール

内 容：(株)IHI 横浜事業所とのマッチング技術商談会

連携先：浜松商工会議所、豊橋商工会議所、（公財）南信州・飯田産業センター

出展数：遠州地区 37 社・1 団体、東三河地区 3 社、南信州地区 1 社・1 団体

来場数：551 名

成 果：商談成立 3 社 7 件（1,779 千円）、継続案件 24 件、見積依頼 21 件

商談成立企業：(株)ブローチ研削工業所（浜松市北区）、(株)キンポーメルテック（長野県飯田市）、(株)美浜工業（浜松市浜北区）

※平成 29 年度実施した「KOMATSU」における 1 年後の調査結果

成 果：商談成立 5 社 7 件（6,078 千円）、継続案件 14 件、見積提出 11 件

(2) 浜松地域技術商談会

静岡県西部地域（7 市 1 町）と連携し、浜松地域の優れた技術を持つ企業（受注企業）と新たに技術連携や事業連携、取引等を希望する大企業・商社・発注企業とのマッチング商談会を開催した。この商談会では、自動車部品・産業用機械・宇宙産業・医療機器・航空機・電子機器・環境分野等の企業を浜松へ招致し、多くのパートナーと出会えるチャンスを創出した。

また、輸送用機器関連分野を主対象に、輸送用機器大手メーカーなどが取り組んでいる製品開発や工程改善などで抱える課題解決に役立つ技術・製品ニーズと浜松地域の中小企業の技術・製品シーズのマッチングを創出する展示会を開催した。

ア コンチネンタルオートモーティブ(株)（浜松市浜北区）

開催日：平成 30 年 5 月 17 日（木）～平成 31 年 3 月 29 日（金） ※随時開催

会 場：(有)金井鉄工所（浜松市浜北区）、西誠(株)（浜松市西区）

(株)ブローチ研削工業所（浜松市北区）、(有)鈴精機（周智郡森町）

内 容：技術ニーズに対して、財団が地域企業 3 社をマッチング

成 果：商談成立 4 社 4 件（1,531 千円）

商談成立企業：(有)金井鉄工所、西誠(株)、(株)ブローチ研削工業所、(有)鈴精機

イ 浜松ホトニクス(株) 豊岡製作所 電子管事業部（磐田市）

開催日：平成 31 年 1 月 25 日（金）

会 場：浜松ホトニクス(株) 豊岡製作所

内 容：展示商談会形式で実施

参加者：10 社

(株)浅沼技研（浜松市西区）、(株)上野鉄工所（浜松市東区）、(株)ナユタ（浜松市東区）、BEYON CHEMICA(有)（浜松市東区）、(株)平野工業製作所（浜松市

北区)、フジ精工(株) (浜松市天竜区)、(株)丸武部品 (磐田市)、(株)美浜工業 (浜松市浜北区)、(株)森島製作所 (浜松市浜北区)、(有)雪山シボリ (浜松市東区)

成 果 : 3 社口座開設

ウ (株)IHI (神奈川県横浜市)

開催日 : 平成 31 年 2 月 6 日 (水)

会 場 : グランドホテル浜松

内 容 : ニーズ説明会

※IHI の技術ニーズに対して、地域企業がエントリーし、個別面談

参加者 : 23 社 33 名 [市内] 企業 20 社 27 名、[市外] 企業 3 社 6 名

エントリー者数 : 17 社

個別面談者数 : 4 社

成 果 : 面談企業 4 社との協業に向け検討中

エ その他、販路開拓に係るマッチング事業は随時対応、実施した。

(3) 浜松地域マッチング技術商談会への出展

浜松地域で開催されるビジネスマッチングフェアなどに財団ブースを設け出展することで、財団の活動内容や支援メニューなどを PR する場とし、対外的な広報活動や地元企業との交流による情報収集、企業間のマッチング推進などを行った。

ア 第 12 回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2018

開催日 : 平成 30 年 7 月 11 日 (水) ~ 12 日 (木)

会 場 : アクトシティ浜松 展示イベントホール

内 容 : 財団ブースを設け、財団支援成果の PR やフォトンバレーセンター、次世代自動車センター事業の紹介など

出展者 : 235 社

来場数 : 7,600 名 (11 日 : 3,950 名、12 日 : 3,650 名)

イ 第 8 回産業振興フェア in いわた

開催日 : 平成 30 年 11 月 9 日 (金) ~ 10 日 (土)

会 場 : 磐田市アミューズ豊田

内 容 : 財団ブースを設け、財団支援成果の PR や次世代自動車センター事業の紹介など

出展社 : 180 社

来場数 : 5,000 名 (9 日 : 3,000 名、10 日 : 2,000 名)

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
①「大手メーカー技術商談会」出展社数	22 社	43 社	30 社
②「大手メーカー技術商談会」商談成立件数	2 件	7 件	5 件
③「浜松地域技術商談会」商談成立件数	5 件	7 件	5 件
④マッチング件数	184 件	120 件	—

※1 : 平成 30 年 3 月末日時点、※2 : 平成 31 年 3 月末日時点

※①②は大手メーカー技術商談会 (浜松商工会議所連携事業)

【年度総括】

平成 30 年度は、販路開拓及びマッチング支援を財団の中核事業と位置づけて事業展

開を図った。浜松ホトニクス㈱電子管事業部との展示商談会では3社の地域企業が口座開設に至り、㈱IHI ニーズ説明会では参加企業のうち4社が個別面談に進み、協業に向け調整中である。ダイキン工業㈱ニーズ説明会では、参加企業21社のうち6社が個別面談に進み、1社は共同開発を行っている。 ※全て平成31年3月末現在

また、年間を通じて関係各所（大手メーカー、国等の行政機関、支援機関等）へ積極的に訪問し、大手企業向け技術商談会をはじめ、財団PRを兼ねた浜松地域の技術商談会の下準備を行った。

令和元年度も、地域企業と大手企業とのマッチングによる販路拡大を推進することにより、新規事業展開を支援していく。

2.2 海外ビジネス展開支援事業

決算額 2,398,838 円（予算額 5,349 千円） <浜松市受託>

【目的】

海外市場をターゲットに事業拡大を目指す中小企業を支援することにより、地域産業のグローバル展開を促進するとともに、新事業分野への参入の可能性を拡張する。

【実施内容】

(1) はじめての海外展開セミナー

初めて海外展開する浜松市内の中小企業者を対象に、JETRO等の支援機関と連携し、海外展開する事前調査（FS）の趣旨や進め方、手法を学ぶ講習会としてセミナーを開催した。

開催日：平成30年4月13日（金）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

内 容：演題／海外展開したい企業が事前に確認すべきポイントとは

講師／㈱フェアコンサルティング マネージャー 外園 雅大 氏

演題／事例発表「うなぎいもの海外展開について」

講師／（有）コスモグリーン庭好（浜松市南区）

取締役 6次産業化事業部長 伊藤 拓馬 氏

演題／ジェトロ浜松の海外展開支援について

講師／ジェトロ浜松

演題／海外展開支援事業費補助金について

講師／（公財）浜松地域イノベーション推進機構

個別相談会

受講料：無料

参加者：10社11名（定員：30名、申込：19名）

〔市内〕企業9社10名、〔市外〕企業1社1名

(2) 海外展開事業化可能性調査費補助金（海外FS補助金）

浜松市内の中小企業者が、技術や製品の強みを核にアジア地域等への海外進出を目指して実施する事業化可能性調査に対して補助金を交付した。

公募期間：〔1次〕平成30年4月16日（月）～5月31日（木）

〔2次〕平成30年7月17日（火）～8月17日（金）

対 象：市内に本社機能を有する中小企業者又は市内に本社機能を有する中小企業者2者以上の者で組織された共同体

補 助 率：1/2

補助額：上限 500 千円

対象経費：国内外において実施する調査委託費用・専門家への相談費用など

申請件数：[1 次] 5 件、[2 次] 1 件

採択件数：[1 次] 4 件、[2 次] 1 件

事業期間：交付決定後～平成 31 年 2 月 28 日（木）

交付決定額：[1 次] 1,885,776 円（4 件）、[2 次] 500,000 円（1 件）

交付確定額：[1 次] 1,885,776 円（4 件）、[2 次] 500,000 円（1 件）

< 交付企業一覧 >

[1 次]

(単位: 円)

1	企業名	合同会社エヌケイ・インベストメント（浜松市西区）	確定額	385,776
	[対象国] マレーシア			
	[内 容] 高級ギフト用乾燥椎茸の販路開拓に向けた事業化可能性調査			
	[成果と今後] 2020 年度を目処に海外展開を進める。取引の可能性が残る販売店に次年度のニューイヤース商戦に向けてより具体的な提案を行う。また、現地日本食レストランにもアプローチする。			
2	企業名	(有)太悦鉄工（浜松市東区）	確定額	500,000
	[対象国] アメリカ			
	[内 容] フレペグ（固定器具）の販路開拓に向けた事業化可能性調査			
	[成果と今後] 2020 年を目処に詳細調査に移行する。米国市場でも類をみない商品という反応を得た。今後は、適正価格の見極め、土壌ごとの製品テストなど市場獲得に向け更なる調査を行う。			
3	企業名	高橋博之（陽だまりファーム）（浜松市北区）	確定額	500,000
	[対象国] 香港			
	[内 容] 「陽だまりみかんジュース」の販路開拓に向けた事業化可能性調査			
	[成果と今後] 2019 年度を目処に海外展開を進める。ブランドの知名度向上に向け、産地や仲間の農家とも協力体制を築いて広告宣伝に取り組む。			
4	企業名	(株)モリロボ（浜松市中区）	確定額	500,000
	[対象国] アメリカ			
	[内 容] クレープロボット「Q」の販路開拓に向けた事業化可能性調査			
	[成果と今後] 2020 年を目処に海外展開を進める。現地のニーズに合わせて焼成速度の調整、トルティーヤを焼けるロボットへの設計変更、メンテナンス体制の構築に取り組む。			
計				1,885,776

[2 次]

(単位: 円)

1	企業名	ATV(株)（浜松市北区）	確定額	500,000
	[対象国] タイ、インド			
	[内 容] 電子打楽器 aFrame、電子ドラムの販路拡大に伴う調査			
	[成果と今後] 2019 年度を目処に海外展開を進める。調査を通して、サンプルとして店頭で電子ドラムを置く可能性が出ており、具体的な販売を計画していく。			
計				500,000

(3) アセアンレンタルオフィス賃借費補助金

浜松市内の中小企業者が、海外ビジネス展開を図るため、アセアンにおける製造・販売などの事業拠点の新設準備に際し、オフィスをレンタルすることに対して当該企業の支援を図った。

公募期間：平成 30 年 4 月 2 日（月）から随時募集

対 象：市内に本社機能を有する中小企業者

補 助 率：1/2

補 助 額：上限 300 千円 ※1 か月最大 5 万円で最長 6 か月分

対象経費：①レンタルオフィス賃借費、②レンタルオフィスに付随するサービスのうち賃借費に含まれるもの（備品利用料、共有スペース利用料、光熱水費・電話回線利用料など）

申請件数：0 件 ※年間通して申請企業なし

採択件数：0 件

事業期間：交付決定後～最長 6 か月間

交付決定額：0 円（0 件）

交付確定額：0 円（0 件）

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
海外 F/S 補助金申請件数	8 件	6 件	10 件
海外 F/S 補助金提案採択件数	4 件	5 件	10 件
レンタルオフィス補助金提案採択件数	1 件	0 件	2 件

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 30 年度の当該事業の実施にあたっては、地域中小企業が海外展開についての理解を深められるよう、ジェトロ等の支援機関と連携し、海外 FS の進め方や方法を学ぶセミナーを補助事業公募前に開催し、海外展開に対する具体的な方法論を学ぶことで、海外展開の可能性調査実施に結び付けられる環境を整えた。その結果、企業の理解度上昇に伴い採択率が上がり、昨年度を上回る 5 社が採択された。

本事業では、アジア地域を中心にマーケティングなどの事業化調査により、現地のニーズの見極め、製品テスト、取引先の開拓等を実施した。いずれも具体的な検討をすることができ、今後 1～2 年での海外展開を計画しているため、継続的なフォロー体制を整える。

アセアンレンタルオフィス賃借費補助金については、問い合わせが 1 件に留まり、浜松市と調整した結果、令和元年度は実施しないこととした。

2 3 地場産業振興事業

決算額 2,107,844 円（2,108 千円）

＜財団自主＞

【目的】

繊維製品の普及、拡大を図るための各種見本市への出展支援や、二輪車製造業及びオートバイ文化の振興を目的とした、「バイクのふるさと浜松」開催にかかる事務局運営を行い、浜松地域の地場産業の振興を図る。

【実施内容】

(1) 繊維製品の普及拡大

本地域の代表的な地場産業である織物の振興に向けて、繊維製品の展示商談会への出展支援など、静岡県、浜松市等と連携した支援を行った。

ア 遠州産地需要開拓事業（繊維協会への負担金として 880 千円）

(ア) ハママツコレクション

①プレミアムテキスタイルジャパン

会 場：東京国際フォーラム

内 容：浜松テキスタイルを国内外の繊維関係者に PR する展示商談会

【Spring/Summer】

開催日：平成 30 年 5 月 9 日（水）～10 日（木）

出展社数：5 社（有）コヤマインターナショナル（浜松市中区）、鈴木晒整理株（浜松市中区）山崎テキスタイル株（浜松市中区）、古橋織布有（浜松市西区）、有福田織物（掛川市）

来場者数：853 名

サンプル依頼件数：3,841 件

【Autumn/Winter】

開催日：平成 30 年 11 月 21 日（水）～22 日（木）

※JFW ジャパンクリエーション 2019 併催

出展社数：3 社 古橋織布有、日本形染株（浜松市中区）、タケミクロス（浜松市東区）

来場者数：405 名

サンプル依頼件数：2,492 件

②東京インターナショナル・ギフトショー

【Autumn】

開催日：平成 30 年 9 月 4 日（火）～7 日（金）

会 場：東京ビッグサイト

内 容：浜松テキスタイルを国内外の繊維関係者に PR し、産地のイメージアップ、販売力の強化や新規ルートの確立を図る。

出展社数：1 組合 1 社 遠州織物工業協同組合《杉浦テキスタイル株（浜松市東区）、辻村染織有（浜松市東区）、有福田織物》

来場者数：118 名

サンプル依頼件数：111 件

【Spring】

開催日：平成 31 年 2 月 12 日（火）～15 日（金）

会 場：東京ビッグサイト

内 容：浜松テキスタイルを国内外の繊維関係者に PR し、産地のイメージアップ、販売力の強化や新規ルートの確立を図る。

出展社数：1 組合 1 社 遠州織物工業協同組合《杉浦テキスタイル株、辻村染織有、滝本織布（浜松市浜北区）、有マサル織布（浜松市浜北区）》、株タケミクロス

来場者数：147 名

サンプル依頼件数：110 件

③高機能素材ワールド

開催日：平成 30 年 12 月 5 日（水）～7 日（金）

会 場：幕張メッセ

内 容：産地の商品企画力と技術力をアピールすることで、テキスタイル供給産地としての情報発信機能を高め、産地のイメージアップ、販売力の強化や新規ルートの確立を図る。

出展社数：1 社 サカイ産業(株) (島田市)

来場者数：296 名

サンプル依頼件数：83 件

イ マーケティング強化支援事業

新商品をTN展に出展し、地元や県内外の消費者を対象とした自らの企画による展示・求評会を開催し、新製品に関する評価を得て、ビジネスチャンスの拡大を図った。

(ア) TN Japan 東京展

開催日：平成 30 年 10 月 17 日(水)～18 日(木)

会 場：文化ファッションインキュベーション (東京都渋谷区)

内 容：薄地の独特の風合いを持った高密度織物(1 社)及び保湿性の高い二重織先染織物シャツ地を出展(1 社)

出展社数：2 社 (古橋織布(有) (浜松市西区)、杉浦テキスタイル(株) (浜松市東区))

来場者数：103 名

サンプル依頼件数：265 件

(イ) 展示・求評会

①開催日：平成 30 年 8 月 16 日 (木) ～9 月 2 日 (日)

平成 30 年 8 月 27 日 (月) BtoB

会 場：日本百貨店 御徒町店

出展社：(有)ぬくもり工房 (浜松市浜北区)

来場者数：48 名

サンプル依頼件数：52 件

②開催日：平成 30 年 10 月 5 日 (金) ～7 日 (日)

会 場：磐田駅前祭典会場

出展社：(有)マサル織布

来場者数：530 名

サンプル依頼件数：32 件

③開催日：平成 31 年 1 月 16 日(水)～17 日(木)

会 場：L&R 店舗

出展社：(株)タケミクロス

来場者数：18 名

サンプル依頼件数：8 件

④開催日：平成 30 年 9 月 14 日(金)～16 日(日)

会 場：クリエート浜松

開催日：平成 30 年 9 月～12 月の 8 回

会 場：月 2 ショップ

出展社：ファブリック鈴忠 (浜松市東区)

来場者数：100 名

サンプル依頼件数：15 件

- ⑤開催日：平成 30 年 9 月 22 日（土）
 会 場：コミュニティスペース Any
 来場者数：40 名
 開催日：平成 30 年 10 月 20 日（土）～21 日（日）
 会 場：浜松市総合産業展示館「遠州バザール」
 来場者数：180 名
 取引依頼件数：14 件
 開催日：平成 30 年 10 月 27 日（土）
 会 場：浜松市総合産業展示館「綿の産地フェア」
 来場者数：100 名
 取引依頼件数：2 件
 出展者：遠州織物工業協同組合
- ⑥開催日：平成 30 年 10 月 26 日（金）～28 日（日）
 会 場：イオン袋井店
 出展者：滝本織布(有)
 来場者数：75 名
 サンプル依頼件数：15 件

(2)「バイクのふるさと浜松 2018」の事務局運営

オートバイの魅力や文化の発信等を目的とする「バイクのふるさと浜松」の事務局運営を担い、イベント開催に向け関係機関との調整や実行委員会を開催した。

ア「バイクのふるさと浜松 2018 プレイベント in イオンモール浜松市野」

開催日：平成 30 年 7 月 21 日（土）
 会 場：イオンモール浜松市野
 内 容：バイクのふるさと浜松 2018 の告知、最新モデルの展示
 来場者数：3,600 名

イ「バイクのふるさと浜松 2018」

開催日：平成 30 年 8 月 25 日（土）～26 日（日）
 会 場：浜松市総合産業展示館
 内 容：交通安全宣言パレードラン、トライアルデモンストレーション、最新モデルの展示等
 来場者数：24,000 名

ウ「浜名湖虹色フェスタ 2018」

開催日：平成 30 年 11 月 3 日（土）
 会 場：交通教育センターレインボー浜名湖
 内 容：バイクのふるさと浜松 2019 及びバイクの街・浜松を PR
 来場者数：891 名

【目標指標】

項目	実績		指標
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 30 年度
①ハママツ・コレクション等事業取引依頼件数※	3,348 件	6,637 件	3,500 件
②バイクのふるさと来場者数	23,000 名	24,000 名	24,500 名

※プレミアムテキスタイルジャパンとギフトショー、高機能素材ワールドの数値合計（遠州織物コレクションは除く）

【年度総括】

浜松地域の代表的な地場産業の振興を目的に、繊維、楽器、オートバイ産業等の振興事業として、本事業を実施した。

繊維産業の振興事業として、ターゲット（来場者）を明確に絞った首都圏の展示会出展支援によりサンプル依頼が増加し、今後の成約につながる活動ができた。

「バイクのふるさと浜松 2018」については、新たな取り組みとしてプレイベントを実施したことで、集客数の増につなげることができた。

なお、本事業は平成 30 年度をもって財源が枯渇するため事業廃止となるが、既存の支援メニューの活用により、繊維、楽器、オートバイ関連企業の支援は継続して行っていく。また、関係機関と協議の上、平成 31 年 4 月には「バイクのふるさと浜松実行委員会事務局」を浜松市に移管することで決定した。

8【創る】次世代自動車センター・フォトンバレーセンター

2 4 次世代自動車センター事業

決算額 20,000,000 円（予算額 20,000 千円）	＜県補助・浜松市負担金＞
決算額 10,452,624 円（予算額 1,400 千円）	＜財団自主＞
決算額 1,900,222 円（予算額 1,200 千円）	＜会員会費＞

【目的】

近年加速する自動車産業の技術革新（EV 化や自動運転化等）に伴うビジネス環境の変化に中小企業が対応するため、県西部地域の基幹産業である輸送用機器産業で培ってきた技術力の高度化、新製品開発等を支援する。

【実施内容】

次世代自動車産業に対する地域中小企業の新規事業展開を重点施策と位置づけ、財団内に「次世代自動車センター」を平成 30 年度新たに設置し、専任の技術コーディネーターを中心に会員制度を用いて支援展開した。また、地元輸送用機器メーカー及び地域支援機関との連携により、産学官金一体で次世代技術への転換や新技術開発等を支援した。

＜会員制度＞

- ・会員企業 324 社 ※平成 30 年 3 月 31 日現在
[県西部地域] 企業 196 社、[県西部地域外] 企業 128 社
[中小企業] 266 社、[大手企業] 58 社

＜入会資格＞

- ①静岡県に製造拠点等がある中小企業、または自動車関連産業に参入を希望する中小企業
 - ②地域外であっても、県内完成車メーカーと取引のある自動車関連企業
 - ③当センターの事業に賛同する企業 等
- 年会費：12,000 円（税込） ※10 月以降に加入の場合 6,000 円

＜事業展開＞

(1) 講演会

ア 次世代自動車センター設立記念講演会

開催日：平成 30 年 4 月 23 日（月）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：①センター概要説明

説明／次世代自動車センター センター長 望月 英二

②基調講演

演題／国の次世代自動車戦略について

講師／経済産業省 製造産業局 自動車課長 河野 太志 氏

③パネルディスカッション

演題／次世代自動車センターへの対応および期待すること

ファシリテーター／次世代自動車センター

センター長 望月 英二

パネリスト／経済産業省 製造産業局 自動車課長 河野 太志 氏

ヤマハ発動機(株)（磐田市）

取締役 上席執行役員 島本 誠 氏

(株)デンソー（愛知県刈谷市）

エレクトリックコンポーネント事業部 常務役員 海老原 次郎 氏
ASTI(株) (浜松市南区) 参与 波多野 淳彦 氏
静岡理科大学 名誉学長 荒木 信幸 氏

④交流会 ※165名参加

受講料：無料

参加者：218社 333名（定員：300名、申込：318名）※支援機関等除く
[県西部地域] 企業 173社 271名、[県西部地域外] 企業 45社 62名

イ 技術動向講演会

開催日：平成30年10月24日（水）

会場：グランドホテル浜松

内容：①基調講演

演題／次世代自動車の動向と完成車メーカーの取り組みについて

講師／スズキ(株) 開発本部長 高柴 久則 氏

ヤマハ発動機(株) モビリティ技術本部

EM 車両開発部長 小屋 孝男 氏

③パネルディスカッション

演題／次世代自動車への対応 ～中小部品メーカーとの協業～

ファシリテーター／次世代自動車センター

センター長 望月 英二

パネリスト／スズキ(株) 開発本部長 高柴 久則 氏

ヤマハ発動機(株) モビリティ技術本部

EM 車両開発部長 小屋 孝男 氏

(株)ミクニ（東京都千代田区）

執行役員 開発本部長 唐沢 俊夫 氏

日立オートモティブシステムズ(株)（東京都千代田区）

執行役員 CTO 兼 技術開発本部長 山足 公也 氏

三菱電機(株)（東京都千代田区）

自動車機器事業本部 技監 加古 一 氏

④交流会 ※89名参加

受講料：無料

参加者：197社 409名（定員：200名、申込：375名）※支援機関等除く
[県西部地域] 企業 141社 310名、[県西部地域外] 企業 56社 99名

(2) 技術セミナー、講座

ア 会員企業アンケート結果報告会

開催日：平成30年6月22日（金）

会場：ホテルクラウンパレス浜松

内容：①講演

演題／自動車業界の変化に対する会員企業の現状の取り組み

講師／デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

（東京都千代田区）

②事業説明

講演／自動車業界の変化に対する会員企業の現状の取り組み

説明／次世代自動車センター センター長 望月 英二

③スモールプレゼン

説明／ASTI(株)、NTN(株)（磐田市）、(株)カタナコーポレーション（浜

松市北区)、神谷理研(株)(浜松市東区)、(株)KYOWA エンジニアリング・ラボラトリー(静岡市)、国本工業(株)(浜松市東区)、(株)ユニバンス(湖西市)

受講料: 無料(会員限定)

参加者: 111 社 153 名(定員: 300 名、申込: 162 名)

[県西部地域] 企業 83 社 112 名、[県西部地域外] 企業 28 社 41 名

イ モーター及び電気自動車の基礎講座

次世代自動車(電気自動車)に搭載されるモーターの基本原理や基本構造に関する知識等、実習を通して学ぶ講座を開催した。

開催日: 平成 30 年 10 月 23 日(火)～平成 31 年 2 月

会 場: 静岡理工科大学、ヤマハモーターパワープロダクツ(株)(掛川市)

内 容: 全 4 回講座

第 1 回: モーターの基礎 ※平成 30 年 10 月 23 日(火)

第 2 回: モーター実習 ※平成 30 年 11 月 13 日(火)、16 日(金)

第 3 回: 電気自動車の基礎 ※平成 30 年 12 月 17 日(月)

第 4 回: 電動カート組立工場見学 ※平成 31 年 2 月 8 日(金)

受講料: 4,000 円(会員限定)

参加者: 29 社 66 名(定員: 10 社 30 名、申込: 68 名)

[県西部地域] 企業 21 社 47 名、[県西部地域外] 企業 8 社 19 名

ウ 固有技術調査結果報告会

開催日: 平成 30 年 12 月 20 日(木)

会 場: クラウンパレス浜松

内 容: ①固有技術の探索方法について

②会員企業による事例紹介

受講料: 無料(会員限定)

参加者: 105 社 180 名(定員: 150 名、申込: 204 名) ※支援機関除く

[県西部地域] 企業 73 社 133 名、[県西部地域外] 企業 32 社 47 名

(3) 大手メーカー等の製造現場見学会

ア (株)デンソー 安城製作所 現場見学会

開催日: 平成 30 年 5 月 18 日(金)

会 場: (株)デンソー 安城製作所(愛知県安城市)

内 容: 電池パック、オルタネータラインの見学及び講義

参加費: 2,000 円(会員限定)

参加者: 43 社 43 名(定員: 40 名、申込: 43 名)

[県西部地域] 企業 33 社 33 名、[県西部地域外] 企業 10 社 10 名

イ (株)ミクニ 現場見学会

開催日: 平成 30 年 11 月 27 日(火)

会 場: (株)ミクニ 菊川工場(菊川市)

内 容: キャブレッター技術における次世代自動車への事業展開の紹介
からくりを用いた省人化手法、生産性向上への自動化取組み 等

参加費: 2,000 円(会員限定)

参加者: 36 社 38 名(定員: 40 名、申込: 39 社 63 名)

[県西部地域] 企業 26 社 27 名、[県西部地域外] 企業 10 社 11 名

(4) 技術マッチング商談会

ア 商談会及びマッチングについては、適時実施した。

完成車メーカー及び大手部品メーカー3社に対して、技術ニーズの提供を依頼し、会員企業2社との面談を行った。 ※平成31年3月末時点で商談進行中

(5) 調査研究

ア 固有技術探索

地域企業が持っている固有技術を探索する仕組みの確立を図った。

企業訪問：8社

イ 次世代自動車産業の市場調査 ※外部委託：デロイトトーマツ合同会社

地域企業がC・A・S・E（コネクテッド・自動運転・シェアリング・電動化）

などの自動車産業の環境変化に対応するため、自動車産業や新たな技術の動向に関する最新情報や会員企業の取組み状況を調査分析し、会員企業に対して報告を行った。

・平成30年6月22日（金）「会員企業アンケート結果報告会」

・令和元年6月「会員企業アンケート結果報告会」予定

(6) 他機関との連携

ア 車両（日産リーフ）分解研究会への参加

開催日：平成30年7月30日（月）～平成31年3月

会 場：次世代自動車支援センター埼玉 ほか

主 催：（公財）埼玉県産業振興公社、（一社）日本自動車部品工業会

協 力：埼玉自動車大学校、埼玉県産業技術総合センター

（公財）浜松地域イノベーション推進機構 次世代自動車センター

内 容：①試乗会／平成30年7月30日（月）、31日（火）

②車両貸出／平成30年8月

③発足会・車両分解見学会／平成30年9月6日（木）、7日（金）

④講演会・分解部品展示／平成30年10月2日（火）、3日（水）

⑤最終報告会・報告書発行／平成31年3月5日（火）

受講料：15,000円（中小企業）、50,000円（大企業）

参加者：11社22名 ※会員限定

〔県西部地域〕企業11社22名

イ 他支援機関等との連携事業

静岡県内の行政機関、支援機関及び中核企業に対して、次世代自動車センターの概要・事業説明会を実施し、会員企業の獲得及び認知向上を行った。

①主 催：遠州信用金庫（湖西市、湖西市商工会、新居町商工会）

開催日：平成30年7月4日（水）

会 場：湖西市商工会

対 象：湖西市商工会、新居町商工会 会員企業（30名）

②主 催：遠州信用金庫

開催日：平成30年7月20日（金）

会 場：遠州信用金庫 本部

対 象：遠州信用金庫 支店長（30名）

③主 催：浜名商工会工業部会

開催日：平成30年7月20日（金）

会 場：浜名商工会

対 象：浜名工業部会 会員企業（8名）

④主 催：静岡銀行

開催日：平成30年8月3日（金）

会 場：静岡銀行 西部カンパニー

対 象：静岡銀行 西部エリア支店長（90名）

⑤主 催：㈱小糸製作所

開催日：平成30年8月21日（火）

会 場：㈱小糸製作所

対 象：㈱小糸製作所 協力会 77社（80名）

⑥主 催：静岡商工会議所

開催日：平成30年8月22日（水）

会 場：レイアップ御幸町ビル

対 象：静岡市及び近隣市町の中小企業等（40名）

⑦主 催：遠州信用金庫

開催日：平成30年9月5日（水）

会 場：遠州信用金庫 本部

対 象：TKC 会員（20名）

⑧主 催：掛川商工会議所 掛川金属工業会

開催日：平成30年9月10日（月）

会 場：掛川商工会議所

対 象：掛川金属工業会会員企業（15名）

⑨主 催：浜松商工会議所工業部会役員会

開催日：平成30年9月25日（火）

会 場：浜松商工会議所

対 象：浜松商工会議所工業部会会員企業（35名）

⑩主 催：遠州信用金庫（磐田商工会議所、磐田市商工会）

開催日：平成30年9月27日（木）

会 場：磐田市文化振興センター

対 象：磐田地域の中小企業等（35名）

⑪主 催：浜松信用金庫

開催日：平成30年10月3日（水）

会 場：浜松信用金庫 本店

対 象：浜松信用金庫 支店長（120名）

⑫主 催：静岡県プロフェッショナル人材戦略拠点、
静岡ものづくり未来応援団、静岡県

開催日：平成30年10月12日（金）

会 場：静岡新聞ホール

対 象：県内中小企業、ほか（100名）

⑬主 催：㈱ミクニ

開催日：平成30年10月12日（金）

会 場：㈱ミクニ

対 象：ミクニ協力会（100名）

- ⑭主 催：浜松経済同友会
開催日：平成 30 年 10 月 15 日（月）
会 場：グランドホテル浜松
対 象：経済同友会 役員企業（20 名）
- ⑮主 催：静岡県商工会連合会
開催日：平成 30 年 10 月 18 日（木）
会 場：静岡県産業経済会館
対 象：県下商工会の工業部会役員及び担当者等（40 名）
- ⑯主 催：静岡商工会議所 製造業部会、新産業開発振興機構
開催日：平成 30 年 11 月 1 日（木）
会 場：静岡市清水産業・情報プラザ
対 象：静岡商工会議所会員企業（45 名）
- ⑰主 催：袋井市産学官連携推進協議会
開催日：平成 30 年 11 月 5 日（月）
会 場：静岡理工科大学 エンツリー、やらまいか創造工学センター
対 象：袋井市内企業中心に市外企業、金融機関、産業支援機関等（20 名）
- ⑱主 催：天竜商工会 工業部会
開催日：平成 30 年 11 月 16 日（金）
会 場：納涼亭
対 象：天竜区内の工業事業所（20 名）
- ⑲主 催：富士市・富士商工会議所
開催日：平成 30 年 11 月 21 日（水）
会 場：富士市交流プラザ
対 象：富士市及び近隣市町の中小企業等（35 名）
- ⑳主 催：テクノランド細江
開催日：平成 30 年 11 月 26 日（月）
会 場：テクノランド細江協同組合
対 象：テクノランド細江協同組合 会員企業（20 名）
- ㉑主 催：静岡県中小企業団体中央会
開催日：平成 30 年 11 月 28 日（水）
会 場：静岡市
対 象：静岡県中小企業団体中央会 会員企業（60 名）
- ㉒主 催：静岡銀行 磐田支店
開催日：平成 30 年 12 月 4 日（火）
会 場：磐田グランドホテル
対 象：静岡銀行 磐田支店 静友会（30 名）
- ㉓主 催：住友理工㈱
開催日：平成 30 年 12 月 19 日（水）
会 場：住友理工㈱
対 象：住友理工㈱ 協力会（80 名）
- ㉔主 催：牧之原市
開催日：平成 30 年 12 月 25 日（火）
会 場：相良総合センター

対 象：牧之原市及び近隣市町の中小企業（30 名）

②⑤主 催：㈱ミツバ

開催日：平成 30 年 12 月 27 日（木）

会 場：㈱ミツバ

対 象：ミツバ協力会（200 名）

②⑥主 催：日本政策金融公庫

開催日：平成 31 年 2 月 15 日（金）

会 場：呉竹荘

対 象：静岡県西部地域中小企業懇話会（40 名）

②⑦主 催：（公財）埼玉県産業振興公社

開催日：平成 31 年 3 月 15 日（金）

会 場：（公財）埼玉県産業振興公社

対 象：ビジネス交流会 参加企業（50 名）

※（）内はおおよその参加人数

※令和元年度も随時、各所にて事業概要説明会を実施予定

（7）海外イベント視察

世界の自動車産業及び完成車メーカー、大手部品メーカー等の動向を把握する目的で、海外で開催されるモーターショー等を視察し、次世代自動車センターの事業展開に繋げるとともに、世界の自動車産業の動向等を会員企業にいち早くフィードバックした。

展示会：CES2019（International Consumer Electronics Show）

視察日：平成 31 年 1 月 8 日（火）～10 日（木）

場 所：ラスベガス（アメリカ合衆国ネバダ州）

参 加：次世代自動車センター 望月センター長、山村コーディネーター

※視察後、会員企業に対する報告会を実施

報告会：CES2019 視察報告会

開催日：平成 31 年 2 月 26 日（火）

場 所：浜松商工会議所会館 会議室

参加者：55 社 77 名（定員 100 名、申込 101 名） ※会員限定

〔県西部地域〕企業 41 社 63 名、〔県西部地域外〕企業 14 社 14 名

（8）会員企業交流会

情報交換や連携先の探索などを目的に、会員企業同士などの交流の場を設けた。

開催日：平成 31 年 3 月 18 日（月）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

内 容：会員企業間の交流を目的としたグループディスカッションやパネルディスカッションの実施

参加料：無料

参加者：19 社 28 名（定員 30 名、申込 31 名） ※会員限定

〔県西部地域〕企業 11 社 16 名、〔県西部地域外〕企業 8 社 12 名

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
会員入会企業数	—	324 社	100 社
技術開発支援 ※3	—	8 社	15 社
製品開発支援 ※4	—	—社	3 社
販路開拓支援 ※5	—	—社	3 社
「技術マッチング商談会」商談成立件数	—	—社	3 社

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点

※3：「新技術の適用評価研究・実験テーマ」参加企業
「固有技術調査に参加し、棚卸しシート」提出企業

※4：「部品開発の共同プロジェクト」参加企業
「次世代自動車搭載部品の施策」参加企業

※5：「マッチング商談会」商談成立件数 等

【年度総括】

平成 30 年 4 月に静岡県西部地域の基幹産業である輸送用機器産業で培ってきた技術力の高度化、新製品開発等を支援する「次世代自動車センター」を当財団内に設置し、新規事業としてスタートした。同センターでは、地域中小企業の固有技術を活かし、次世代自動車部品を製造することで、新たなビジネス展開ができるように、開発・設計から製造・販売までを会員企業 324 社に対してワンストップ体制で支援を実施した。

平成 30 年度については、固有技術の棚卸しと活用の必要性から企業訪問を積極的に行い、各企業の固有技術の認識とその活用及びレベルアップについてアドバイスを行うとともに、国や大手メーカーの最新動向を発表する「技術動向講演会」、会員企業間の交流によるマッチングを視野に入れた「会員企業交流会」、中小企業単独では難しい「大手部品メーカーの製造現場見学会」などを実施し、次世代自動車に関する技術を学ぶ機会を数多く設けて事業展開を図った。会員企業からは、「自らでは得ることができない国や完成車メーカーの最新情報が得られる」「普段接点のない他業種との交流ができる場はビジネスチャンスに繋がる」など、各事業ともに内容について高評価を得ることができた。

令和元年度は、同センターが掲げる 5 つの支援方針（技術啓発・技術研鑽・技術創造・人材育成・販路開拓）に基づく 20 の支援策を実施することで事業展開を強化し、地元輸送用機器メーカーをはじめ、地域支援機関との連携により、産学官金一体で次世代技術への転換や新技術開発、技術マッチング等の支援に取り組んでいく。

2.5 フォトンバレーセンター事業

決算額 128,463,521 円（予算額 136,592 千円） <県・5 市負担金等>
決算額 10,213,631 円（予算額 10,000 千円） <国補助>

【目的】

「光・電子技術を活用した未来創成ビジョン（フォトンビジョン）」の実現に向け、地域の光・電子技術を基盤とした産業振興を推進する。

併せて、地域の中核支援機関（プラットフォーム）として、光・電子技術が持つ将来の可能性と地域の強みを活かしながら、光・電子技術の世界的拠点となるクラス

一の形成を目指す。

【実施内容】

フォトンバレーセンターは、地域の中核支援機関として、大学の産学連携推進組織や金融機関、官公庁などの各セクターとの連携を強化するとともに、企業群のネットワーク化を進め、入口から出口までを一貫して支援する体制を構築した。

この体制の下、大学シーズと企業ニーズのマッチングをはじめ、光・電子技術活用のためのセミナーなどの人材育成事業や光・電子技術の活用による生産性向上に取り組む企業などの支援を行った。

(1) ビジネスマッチング事業

ア コーディネート事業

・支援種別件数

参入啓発	製品開発	生産性向上	販路開拓	海外展開	人材育成	その他	合計
83	790	339	470	113	142	325	2,262

・技術分野別件数

次世代自動車	医療・福祉機器	ロボット	航空宇宙	環境関連技術	新エネルギー	新農業	CNF	食品	光・電子	その他	合計
44	53	13	16	40	4	63	3	9	1,763	254	2,262

・地区別支援・相談件数

西部								中部 東 部	県外	合計
浜 松 市	磐 田 市	掛 川 市	袋 井 市	湖 西 市	御 前 崎 市	菊 川 市	森 町			
1,316	132	29	119	38	23	30	12	147	416	2,262

イ 参入啓発セミナー

企業における既存事業の課題解決及び新規事業開発に向け、光・電子技術の導入を促すことを目的に、技術の有用性や有望性を啓発するセミナーを実施した。

・デモンストレーションを見てわかる！レーザー入門セミナー

開催日：平成 30 年 6 月 7 日（木）

会 場：浜松工業技術支援センター

内 容：①フォトンバレーセンターの紹介

②浜松工業技術支援センターの紹介

③浜松工業技術支援センターが所有するレーザー関連機器の紹介

④設備デモンストレーション見学

参加者：32 名（定員：20 名）

・低コストで生産性向上！『光の技術』IoT 入門セミナー

開催日：平成 30 年 7 月 10 日（火）

会 場：湖西地域職業訓練センター

内 容：①フォトンバレーセンターの紹介

②演題／IoT の基礎

講師／光産業創成大学院大学

特任教授 北山 研一 氏、教授 石井 勝弘 氏

③演題／50 円のセンサーで 5 億円の改善！～町工場でも成果の出せる IoT～

講師／旭鉄工(株)（愛知県碧南市）コンサル事業部

グループリーダー 永坂 彰啓 氏

参加者：75名（定員：40名）

- ・あなたの会社の問題はセンサーが解決します！『光の技術』センサー入門セミナー

開催日：平成30年8月29日（水）

会場：菊川市商工会

内容：①フォトンバレーセンターの紹介

②演題／ひかりはどう使えばいいの？入門編

講師／光産業創成大学院大学 学長 瀧口 義浩 氏

③演題／カメラやロボットを用いた検査工程の自動化

講師／㈱システック（浜松市北区）PLDソリューション部

PLD営業課 課長 河合 孝真 氏

参加者：50名（定員：40名）

- ・ひかりと遊ぼう キラピカラボ

子どもたちが光に興味を持ち、理解を深めることで、将来的に光を活用したものづくりに携わる人材を育成するイベントを開催した。

開催日：平成30年11月3日（土）

会場：アクトシティ浜松 研修交流センター

対象：①自由参加イベント（全児童・生徒向け）

②要予約イベント（小学校高学年向け）

参加費：無料

参加者：①204名（②参加者含まず）、②68名（定員：②のみ各回35名）

- ・レーザーによるものづくりの可能性を知る！『光の技術』レーザ加工入門セミナー

開催日：平成30年12月13日（木）

会場：御前崎市研修センター

内容：①光の基礎について

②演題／レーザ加工の基礎と最新の応用事例

～レーザ加工で進める工法転換～

講師／三菱電機㈱（東京都千代田区）FAシステム事業本部

産業メカトロニクス事業部 主席技師 金岡 優 氏

③演題／レーザ加工事例の紹介

講師／㈱レーザックス（愛知県知立市）技術開発課 山田 幸司 氏

参加者：32名（定員：30名）

- ・「静岡県IoT応援ツール展示会 in いわた」におけるセミナー

開催日：平成31年1月24日（木）

会場：アミューズ豊田

内容：①演題／新時代のものづくりをIoTで加速する

講師／法政大学大学院 客員教授／（一社）クラウドサービス推進機構
（東京都中央区）理事長 松島 桂樹 氏

②演題／10万円キットから始めたIoT～まずは一歩を踏み出す重要性～

講師／㈱東京チタニウム（さいたま市）専務取締役 小澤 健太 氏

③中小企業支援施策トークセッション

講師／（一社）クラウドサービス推進機構 柏原 剛 氏

関東経済産業局 次世代・情報産業課 課長補佐 荒井 大悟 氏

参加者：105名（定員：40名）

- ・ひかりで変わるものづくり 知識ゼロからの「ひかり」入門セミナー

開催日：平成 31 年 2 月 20 日（水）

会 場：静岡理工科大学

内 容：①演題／ひかりはどう使えばいいの？入門編 Ver.2

講師／光産業創成大学院大学 学長 瀧口 義浩 氏

②フォトンバレーセンター事業紹介

③フォトンバレーセンター事業活用企業による事例紹介

事例 1「A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業」

講師／(株)Happy Quality 代表取締役 宮地 誠 氏

事例 2「光・電子技術活用促進事業」

講師／静岡製機(株) 製造課長 柴山 彰 氏

④静岡理工科大学事業紹介

参加者：37 名（定員：40 名）

(2) 産学官金連携事業

ア 展示会出展支援

東京などの大都市で開催される展示商談会へフォトンバレーセンターの共同ブースを設置し、地域企業の新製品や新技術の販路開拓を支援するとともに、本センターの活動の周知を図った。

期日（会場）	展示会名称	出展社数
4 月 25 日（水）～27 日（金） （パシフィコ横浜）	OPIE'18 レーザーEXPO	6 社
1 月 16 日（水）～18 日（金） （東京ビッグサイト）	ネプコンジャパン LED・半導体レーザー技術展	6 社

イ 広報発信事業

①広報媒体の作成及び運用

a パンフレット作成

発 行：平成 30 年 12 月

発行部数：500 部

b ホームページ

開 設：平成 29 年 11 月

アドレス：<https://www.hai.or.jp/pvc/>

②県西部地域の展示会における情報発信

フォトンバレーセンターの取り組み及び光・電子技術の有用性や有望性を発信するため、県西部地域で開催される技術展示商談会に出展する。

・第 12 回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2018

期 日：平成 30 年 7 月 11 日（水）～12 日（木）

会 場：アクロシティ浜松 展示イベントホール

・第 8 回産業振興フェア in いわた

期 日：平成 30 年 11 月 9 日（金）～10 日（土）

会 場：磐田市アミューズ豊田

・静岡県 IoT 応援ツール展示会 in いわた

期 日：平成 31 年 1 月 24 日（木）

会 場：磐田市アミューズ豊田

③未来創成フォトンバレーセミナー

フォトンバレーセンターの活動を広く周知するとともに著名な講師を招いて未来創成につながる講演を開催した。

期 日：平成 30 年 11 月 8 日（木）

会 場：えんてつホール

内 容：①演題／浜松発！産学官金連携による新たな企業支援スキームの構築に
向けて ～光・電子技術を活用して迅速に課題解決を支援～

講師／フォトンバレーセンター センター長 伊東 幸宏

②演題／潮目が変わる時代にどう対処していくか

講師／(株)堀場製作所（京都府京都市）

代表取締役会長 兼 グループ CEO 堀場 厚 氏

参加者：203 名（定員：200 名）

ウ 光を利用したものづくりに関するセミナー

レーザ光源の技術進展に伴い、新たな加工技術が活用される中、多くの企業がレーザ加工の最適な条件設定が課題となっていることから、その課題に寄与するセミナーを開催し、企業が抱える課題解決を図った。

<レーザ加工の最新動向>

・第 1 回進化を続けるレーザ切断・溶接の最前線を知る【切断編】

開催日：平成 30 年 10 月 19 日（金）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：①演題／レーザ切断における基礎現象と切断技術の展望

講師／中央大学研究開発機構 教授 新井 武二 氏

②演題／レーザによる切断と穴あけ加工機の最新動向

講師／三菱電機(株)（東京都千代田区） FA システム事業本部

産業メカトロニクス事業部 主席技師 金岡 優 氏

参加者：37 名（定員：60 名）

・第 2 回進化を続けるレーザ切断・溶接の最前線を知る【溶接編】

開催日：平成 30 年 11 月 16 日（金）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：①演題／レーザ溶接の基礎と動向

講師／光産業創成大学院大学 光加工・プロセス分野

特任教授 森 清和 氏

②演題／高出力ファイバーレーザの最新技術と自動車産業への適用例

講師／IPG フォトニクスジャパン(株)（神奈川県横浜市）

取締役ジェネラルマネージャー 菊地 淳史 氏

参加者：35 名（定員：60 名）

エ 健康医療分野のセミナー ※はままつ医工連携拠点と共同開催

はままつ医工連携拠点との共催による健康医療分野に関するセミナー（全 5 回）を実施した。

演 題：薬機法入門セミナー「薬機法の基礎」

開催日：平成 30 年 9 月 14 日（金）

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

内 容：薬機法の規制対象となる範囲や内容全般の解説

講師／OGY メディカルデバイスソリューションズ(株)（東京都八王子市）

代表取締役 荻生 久夫 氏

参加者：38名（定員：30名）

※会場及び講師は全回共通

演 題：医療機器分野参入セミナー1「医療機器分野参入方法について」

開催日：平成30年10月12日（金）

内 容：医療機器分野参入の考え方、ニーズに基づいた医療機器の開発方法について

参加者：23名（定員：30名）

演 題：薬機法実践編セミナー1「品質マネジメントシステム構築について」

開催日：平成30年11月16日（金）

内 容：QMS省令、QMS省令とISO13485：2016の違いの解説、
QMS適合性調査の注意点紹介

参加者：25名（定員：30名）

演 題：医療機器分野参入セミナー2「リスクマネジメントについて」

開催日：平成30年12月14日（金）

内 容：「医療機器ーリスクマネジメントの医療機器への適用」に基づいたリスク
マネジメントの実施方法のポイントとノウハウ

参加者：32名（定員：30名）

演 題：薬機法実践編セミナー2「医療機器認証申請の申請書作成のポイントとノ
ウハウの紹介」

開催日：平成31年2月15日（金）

内 容：「医療機器認証申請の申請書作成のポイントとノウハウの紹介」に基づい
た医療機器認証申請目指す人へのポイントとノウハウ

参加者：16名（定員：30名）

オ ビジネスプロデュース力養成ワークショップ（VIPS2018）

偉大な先人たちの足跡を学びつつ、イノベーションの創出や持続的発展のため、
自ら考え、課題を設定し、信念を持って事業構想をまとめ上げ、次世代のビジネス
を担っていくビジネスプロデュース力の養成を行った。

※地域イノベーション戦略支援プログラム（浜松・東三河ライフフォトニクスイノ
ベーション）にて光産業創成大学院大学がプログラム開発を進めていた人材育成
事業「VIPS」をフォトンバレーセンターにて継承し実施している。

<ワークショップ>

開催日：平成30年7月20日（金）～平成30年10月26日（金）（全8回）

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター ほか

内 容：基礎となるスキルやマインド、対人力、思考力を磨き、目的を共有し、
目標を設定し、共に考え、共に行動する仲間をどのようにして作るかと
いう模擬体験を重視したワークショップ

対象者：企業等の中堅層の方々、これからのビジネスを担っていく方々

受講料：50,000円

参加者：22名（定員：15名）

<事業報告会>

開催日：平成30年11月22日（木）

会 場：プレスタワー

内 容：受講者が所属する企業の上司や経営者などに対する発表の場（ワークショップの中で身に着けた知識や気付きなどを、伝えるというスキルを磨いて、成果を報告する）。

対象者：ワークショップ参加者、所属企業上司 等

修了者：受講生 22 名中 19 名

(3) 技術活用支援事業

光・電子技術を活用した事業展開を支援するため、光・電子技術を新たに活用し製品開発に向けた試作品の製作や既存事業への光・電子技術の導入に対する補助事業を実施した。

ア 光・電子技術活用促進事業費補助金

公募期間：[1 次] 平成 30 年 6 月 1 日（金）～7 月 27 日（金）

[2 次] 平成 30 年 8 月 8 日（水）～9 月 14 日（金）

対 象：＜新規参入製品開発＞

光・電子分野に新規参入し、製品開発を目指す中小企業者等

＜生産性向上＞

既存事業の生産性向上にあたり抱える課題解決のための光・電子技術の導入を目指す中小企業者等

補 助 率：1/2

補 助 額：上限 2,000 千円

対象経費：原材料・部品等購入費、機器設備費、産業財産権等導入・取得費、外注委託費、技術指導導入費、機器・設備類のリース・レンタル料、消耗品費（開発に直接必要なもの）

申請件数：[1 次] 3 件、[2 次] 3 件

採択件数：[1 次] 3 件、[2 次] 3 件

事業期間：交付決定後～平成 31 年 2 月 28 日（木）

交付決定額：[1 次] 4,950 千円（3 件）、[2 次] 6,000 千円（3 件）

交付確定額：[1 次] 4,950 千円（3 件）、[2 次] 5,771 千円（3 件）

＜交付企業一覧＞

【1 次】

（単位：円）

1	企業名	株井田商店（浜松市西区）	確定額	2,000,000
	[内容] ＜生産性向上＞選別工程における X 線検査装置導入による生産性向上の実現			
2	[成果と今後] X 線検査装置導入により、これまでの目視選別では対応が難しかった異物（石・鉄等）の除去が可能になると同時に、1 時間当たりの生産性が向上した。今後は、従業員への X 線に対する安全面及び装置の操作方法の習得など人材育成に力を入れていく。			
	企業名	安井農園（袋井市）	確定額	950,000
3	[内容] ＜生産性向上＞メロン温室自動制御タブレット端末対応及び GAP 生産管理運用プログラム作成			
	[成果と今後] 既存の温室制御システムの更新及びタブレット対応システムの構築により、移動を含めた作業時間が大幅に短縮されると同時に、ボイラーの稼働時間の小まめな制御により、経費の節減を図ることができた。今後は、A I による自動制御等を検討する。			
3	企業名	パイフォトニクス(株)（浜松市東区）	確定額	2,000,000
	[内容] ＜生産性向上＞高輝度 LED アレイ光源技術の導入による光パタ			

	ーン形式 LED 照明装置の高性能化	
	〔成果と今後〕 光パターン制御が可能となる高性能化の実現により、多種多様な機種を 1 機種に統合することができ、部品数と製造工数の削減が可能となった。今後は、製品化のための製造工程の確立を目指す。	
計		4,950,000

【2 次】

1	企業名	浜名レーザー(株) (浜松市西区)	確定額	1,771,116
	〔内容〕 <新規参入製品開発>高出力可視レーザを用いた超硬合金の肉盛溶接機の開発試作			
	〔成果と今後〕 ブルーレーザーを使用した肉盛溶接システムを構築し、超硬合金のレーザー肉盛溶接による補修技術の実証を行った。今後は、当システムにより復元した超硬工具の機能性評価等を実施する。			
2	企業名	静岡製機(株) (袋井市)	確定額	2,000,000
	〔内容〕 <生産性向上>レーザーや波長校正ランプを用いた食味分析計分光器の波長校正システムの構築			
	〔成果と今後〕 米の食味分析計の測定精度のズレの原因となる分光器の波長校正を自社で実施できるようシステムを構築した。その結果、外注の場合と比較し、最大 59 日のリードタイム短縮が可能となった。今後は、システムの性能、安全性確保のため、従業員への取扱教育を実施する。			
3	企業名	(株)内山刃物 (浜松市中区)	確定額	2,000,000
	〔内容〕 <生産性向上>超短パルスレーザによる工具成形における加工精度と生産性の向上			
	〔成果と今後〕 新型のマイクロスコープを導入し、照明を傾斜して測定精度を向上させた結果、レーザー加工機内での機上計測が可能となり、加工精度の向上と作業時間の短縮につながった。今後は、工具の取り付け制度の向上のため、部品等の交換等を実施する。			
計				5,771,116

(4) 世界的ネットワーク構築支援事業

ア ドイツ・ベルリン地域への地域企業等の紹介

展示会「OPIE」出展のため来日したドイツ・ベルリン地域の企業等を浜松に招聘し、市内企業等とのマッチングの場を設けた。

期 日：平成 30 年 4 月 23 日（月）

来訪者：産業支援機関（ベルリンパートナー・ロスラー 氏、OptecBB・ラーチ 氏）、ベルリン地域の企業 4 社 6 名

イ Hugo Thienpont 教授特別講演会の開催

大学や企業の研究者向けに、欧州で取り組まれている企業支援の手法「アクトファスト」について理解を深めてもらうため、講演会を開催した。

開催日：平成 30 年 5 月 7 日（月）

会 場：静岡大学浜松キャンパス S-Port3 階大会議室

参加者：83 名（定員：100 名）

内 容：講師／Hugo Thienpont（ヒューゴ・ティエンポン）教授

Nathalie Vermeulen（ナタリー・フェルムーレン）教授

ウ 台湾展示会への出展

海外市場への販路開拓を支援するため、県内企業と展示会に共同出展した。なお、

出展にあたっては、新たな連携先として交流を始めた台湾工業技術研究院の支援を受けた。

期日（会場）	展示会名称	出展社数
9月27日（木）～29日（土） （台湾世界貿易センター）	TAIWAN INNOTECH EXPO 2018	1社

※出展支援企業：(株)オプトコム

エ マイクロオプティクス成形技術セミナーの開催

静岡県工業技術研究所等と共同で、ドイツ・フラウンホーファーISC研究所及び同研究所のスピンオフ企業 MultiPhoton Optics 社を講師に招いたセミナーを開催した。

開催日：平成31年1月28日（月）

会 場：静岡市産学交流センター プレゼンテーションルーム

参加者：33名（定員：50名）

内 容：①演題／フラウンホーファー研究機構の概要

講師／静岡県工業技術研究所 研究調整監 鈴木 敬明 氏

②演題／有機・無機複合材料 ORMOCER®とその応用事例

講師／フラウンホーファーISC研究所 Mr.Gerhard Domano 氏

③演題／フェムト秒レーザーによる微細形状成形技術とその応用事例

講師／MultiPhoton Optics 社 Dr.Ruth Houbertz 氏

④演題／光集積回路用光学材料の紹介

講師／日産化学(株) 新事業企画部 主席 縄田 秀行 氏

オ 浜松市国際見本市「Photonics West 2019」出展支援

浜松市事業の「Photonics West 2019」出展について、共同出展者の募集、浜松市国際見本市出展ブース運営委員会 Photonics West 部会への参加、現地見本市での出展者支援を行った。

開催期間：平成31年2月5日（火）～7日（木）

会 場：米国カリフォルニア州サンフランシスコ市モスコーン・センター

(5) A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業

国内初の産学連携スキームを構築し、企業の課題解決のためのプロジェクトチームを外部の専門家や企業等で結成して、光・電子技術の活用により早期の課題解決を支援した。

対象事業：(1) 新製品の開発に向けた試作品の製作

(2) 新製品・サービスの開発に向けた設計

(3) その他センターが認めるもの

委託金額：1プロジェクトあたり上限500万円

・第1回公募

公募期間：平成30年4月23日（月）～平成30年5月31日（木）

申請件数：15件 ※うち2件辞退

採択状況：一次審査通過：6件 ※平成30年8月7日（火）

二次審査通過：6件 ※平成30年9月20日（木）、26日（水）

事業期間：平成30年10月～平成31年3月 ※最長6ヶ月間

採択件数：4件 ※静岡県採択分：2件

委託金額：19,955千円 ※静岡県採択分：9,992千円

【フォトンバレーセンター採択企業】

(単位：円)

1	企業名	リバティテクノ(株) (浜松市中区)	委託額	5,000,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名] 自動運転搬送機器統合制御ユニットの試作			
	[成果と今後] 静岡大学の3研究室のモーター制御、自動運転、高精度測位の技術を統合した制御ユニットを試作した。評価用搬送機器に実装し実走行での評価実験、および自動運転の基礎実験を終了した。今後、統合制御ユニットは支援依頼企業が参考にして無人搬送機器の実用化開発に供される。			
2	企業名	浜松ナノテクノロジー(株) (浜松市北区)	委託額	5,000,000
	プロジェクトリーダー	浜松医科大学		
	[プロジェクト名] 正確な微粒子の定量を可能とする静電分注パターンニング装置開発			
	[成果と今後] 静電分注パターンニング装置 (ODS-P シリーズ) に調温・調湿装置を加えることにより、微量の液滴をより正確に滴下し、測定できる試作品を開発した。今後は支援依頼企業にて既存の静電分注パターンニング装置に成果品である調温・調湿チャンバーを改良し、装置のオプション品として製品化する。			
3	企業名	ATV(株) (浜松市北区)	委託額	4,956,000
	プロジェクトリーダー	光産業創成大学院大学		
	[プロジェクト名] 電子楽器の医療・ヘルスケア分野への応用のための基盤技術検討と試作			
	[成果と今後] 電子楽器 aFrame をそのまま用いて、医療・ヘルスケア分野へ適用できる脳計測のための実験プログラムを完成し、3組分の健常人実験データを取得した。予備実験結果であるが、今後はデータ解析ののち、どのように次の展開につなげていくか検討することができる。			
4	企業名	(株)スカイプランニング (浜松市北区)	委託額	4,999,000
	プロジェクトリーダー	静岡理工科大学		
	[プロジェクト名] 省エネ機能をパッケージ化したトップライトの開発			
	[成果と今後] 昼光を利用した照明のため、高天井LED照明装置に外部照度計のデータをもとに調光信号を送る機能付きのトップライトシステムを試作した。今後、明るさ感の確保は特殊な照明手法となるため、照明を組込んだトップライトの製品化を目指す。			
計			19,955,000	

【静岡県採択企業】

(単位：円)

1	企業名	(株)エヌエスティー（浜松市北区）	委託額	5,000,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名] 建設機械業界向け在庫管理用 ID システム			
	[成果と今後] 建機用アタッチメントに装着した ID タグのリードライト、テキストデータの転送、データ表示、反応速度、受信距離を明確にすることができた。今後、支援依頼企業は得られた成果をもとに専用ハードウェアの検討、管理ソフトウェアの開発を実施し製品化を進める。			
2	企業名	(株)Happy Quality（袋井市）	委託額	4,992,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		

	[プロジェクト名] 農業 AI を用いたストレス栽培向け灌水制御の実現	
	[成果と今後] 各種センサやカメラ等を圃場に設置し、そこから得られた環境情報や草姿画像から AI を駆使して高精度に萎れ具合を予測する「萎れ検知ソフトセンサ」を用いたストレス栽培向け灌水制御マニュアルのプロトタイプを開発した。今後は、培地量や品種の違いや季節性や地域性の違いの影響を許容できるか研究開発し、サービス展開を検討する。	
	計	9,992,000

・第 2 回公募

公募期間：平成 30 年 11 月 12 日（月）～平成 30 年 12 月 11 日（火）

申請件数：13 件

採択状況：採択審査会 ※平成 31 年 3 月 22 日（金）

プロジェクト計画審査会 ※平成 31 年 4 月 24 日（水）

事業期間：令和元年 5 年中旬～12 月 31 日（火）

(6) 地域イノベーション・エコシステム形成プログラム ※国補助事業

平成 28 年 9 月に静岡大学及び浜松市が申請した文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム（事業名：光の先端都市『浜松』が創成するメディカルフォトニクスの新技術）」が採択された（平成 28 年度から平成 33 年度の 5 年間限定）。これを受けて、低侵襲立体内視鏡等の事業化プロジェクト成果の海外展開や新たな産業基盤の構築を推進するにあたり、当該プログラムにおける自治体が指定する機関として、マーケティングを専門とするコーディネーターを 1 名配置（国費を活用）することにより連携を図った。

事業期間：平成 30 年 4 月 1 日（日）から平成 31 年 3 月 31 日（日）

補助金額：10,213,631 円（交付確定額）

(7) 静岡県中小企業制度融資及び新規・地域産業立地事業費補助金

静岡県の依頼に対し、成長分野（フォトンバレープロジェクト）に該当するか否かについて、フォトンバレーセンターの内規に基づき、判断した。

ア 成長産業分野支援資金「クラスター産業分野支援貸付」

光・電子技術関連産業（フォトンバレー）の新規事業展開に対して静岡県が金融機関に利子補給を行い、中小企業者の利息負担を軽減する制度を活用することで、中小企業者の成長及び発展を促進した。

融資対象者：県内に主たる事業所を有し、光・電子技術を基盤とした新技術・新製品の開発を行うため、光・電子技術関連産業（フォトンバレー）プロジェクトに参画する中小企業者、組合など

融資限度額：10 億円

対象経費：クラスター産業分野を推進するための研究、開発、製造、販売に必要な設備資金及び運転資金

融資実績：10 件 699,100 千円 ※平成 29 年度実績：13 件 718,980 千円

イ 新規・地域産業立地事業費補助金

県内で製造工場や物流施設等を新設・増設する企業の設備投資に対して静岡県が助成を行うことにより、国内外からの新たな企業の誘致や県内企業の定着を促進した。

融資対象者：県内に主たる事業所を有し、光・電子技術を基盤とした新技術・新製品の開発を行うため、光・電子技術関連産業（フォトンバレー）

プロジェクトに参画する企業、組合など

補助限度額：10 億円

対象経費：成長産業分野を推進するための建物建設費及び機械設備購入費、安全対策費

補助実績：0 件 ※平成 29 年度実績：4 件（延べ 29,191.28 m²）

【成果指標】

（支援・相談件数）

支援種別	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
参入啓発支援	16 件	83 件	20 件
製品開発支援	452 件	790 件	450 件
生産性向上支援	49 件	339 件	50 件
販路開拓支援	278 件	470 件	280 件
海外展開支援	79 件	113 件	50 件
人材育成支援	17 件	142 件	20 件
その他	92 件	325 件	130 件
合計	983 件	2,262 件	1,000 件

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点

（人材育成事業）

項目	実績		指標
	平成 29 年度※1	平成 30 年度※2	平成 30 年度
参入啓発セミナー in 湖西	45 名	75 名	30 名
参入啓発セミナー in 浜松	35 名	32 名	30 名
参入啓発セミナー in 磐田	39 名	105 名	30 名
参入啓発セミナー in 菊川	一名	50 名	30 名
参入啓発セミナー in 御前崎	一名	32 名	30 名
参入啓発セミナー in 袋井	21 名	37 名	30 名
第 1 回光を利用したものづくりに関するセミナー	96 名	37 名	60 名
第 2 回光を利用したものづくりに関するセミナー	111 名	35 名	60 名
ひかりと遊ぼう キラピカラボ	一名	272 名	一名
ビジネスプロデュース力養成ワークショップ・ワークショップ	15 名	22 名	15 名
合計	474 名	697 名	285 名

※1：平成 30 年 3 月末日時点、※2：平成 31 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 30 年度は相談業務に注力し、前年度比 2 倍を超える 2,262 件の支援対応を行った。これは、コーディネーターの増員とフォトンバレーセンターの活動が認知されてきたことが一因となっていると考察する。啓発事業では、光・電子技術参入啓発セミナーにおいて光・電子技術分野への参入の促進を行い、子ども向けの啓発イベントでは光・電子の理解を深め、興味を持つ、子どもたちの育成にも務めた。

また、第 1 回の開催となった「未来創成フォトンバレーセミナー」では、著名な講

師を招いた講演と併せて、フォトンバレーセンターの活動を PR 行った。これらにより、入門から専門まで、将来を担う子どもたちから大人までの幅広い層に光・電子の啓発を促進することができた。今後についても、地域における光・電子技術分野の振興のため、さらに裾野の拡大を続けていく必要がある。

さらに、企業が必要とする人材育成にも注力するとともに、光・電子技術を活用した中小企業支援ための取り組みとして、光・電子技術活用促進事業（補助金）や企業の課題解決をチームで支援する A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業（以下 A-SAP）など、フォトンバレーセンターの主要事業を実施することで、企業内で事業をプロデュースする力の養成や製品・サービスの開発を短期間で促進することができた。

令和元年度は、静岡県及び西部地域 8 市町すべての自治体との相互連携や地域の産業構造を考慮しつつ、参入啓発セミナーや展示会出展、光・電子技術活用促進事業等を実施するとともに、引き続き、産学官金との連携を図りながら A-SAP に注力して、地域の光・電子技術活用による成長・発展を支援していく。



公益財団法人

浜松地域イノベーション推進機構

Hamamatsu Agency for Innovation

平成 30 年度事業報告の附属明細書

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

令和元年 6 月 4 日

表記は全て平成 31 年 3 月 31 日時点

財 団 の 運 営

1 基本財産及び基金の状況

(単位 千円)

基本財産・ 基金 出 捐 者	基本財産	債務保証 基 金	合 計
浜 松 市	430,000	113,000	(56.2%) 543,000
(旧浜松市)	(430,000)	(63,070)	(493,070)
(旧浜北市)		(20,440)	(20,440)
(旧天竜市)		(11,080)	(11,080)
(旧細江町)		(9,430)	(9,430)
(旧引佐町)		(8,980)	(8,980)
静 岡 県	60,000	113,000	(17.9%) 173,000
民間企業 (社 数)	115,700 (33)	134,000 (31)	(25.9%) 249,700
合 計	605,700	360,000	(100.0%) 965,700

2 評議員及び役員

(1) 評議員

氏 名	勤 務 先 及 び 役 職
杉田 光秀	株式会社静岡銀行 常務執行役員 西部カンパニー長
野口 博	静岡理工科大学 学長
守田 泰男	遠州信用金庫 理事長
小杉 和弘	浜松商工会議所 専務理事 事務局長
寺嶋 一彦	国立大学法人豊橋技術科学大学 理事（研究・学務） 副学長
松下 育蔵	静岡県経済産業部 経済産業部理事（新産業集積担当）
瀧口 義浩	学校法人光産業創成大学院大学 学長
渡瀬 充雄	浜松市 産業部長
仲野 哲央	中部ガス株式会社 執行役員 E&S 本社 経営管理部長 兼 浜松支社長
平井 正大	浜松磐田信用金庫 常務理事
古橋 敏明	一般社団法人静岡県繊維協会 会長
小楠 浩史	中部電力株式会社 静岡支店 浜松営業所長

退任された評議員

氏 名	勤 務 先 及 び 役 職	退任日
石川 晃三	株式会社ソミック石川 代表取締役会長 浜松商工会議所 副会頭	平成 30 年 6 月 28 日
服部 貴應	株式会社エヌエスティー 代表取締役社長	平成 30 年 6 月 28 日
白井 卓也	中部電力株式会社 静岡支店 浜松営業所長	平成 30 年 6 月 30 日

(2) 理事・監事

	氏 名	勤 務 先 及 び 役 職
理事長	山崎 勝康	遠州鉄道株式会社 元専務取締役 国立大学法人浜松医科大学 元監事(常勤)
専務理事	佐藤 洋一	浜松地域イノベーション推進機構 専務理事 浜松市 産業部参与
理事	石川 晃三	株式会社ソミック石川 代表取締役会長 浜松商工会議所 副会頭
〃	伊東 幸宏	浜松地域イノベーション推進機構フォトンバレーセンター長 国立大学法人静岡大学 学長補佐室特任教授(前学長)
〃	木村 雅和	国立大学法人静岡大学 理事・副学長
〃	島本 誠	ヤマハ発動機株式会社 取締役 上席執行役員
〃	服部 貴應	株式会社エヌエスティー 代表取締役社長
〃	原 勉	浜松ホトニクス株式会社 常務取締役
〃	藤井 茂樹	ヤマハ株式会社 執行役
〃	牧田 春光	株式会社河合楽器製作所 常務取締役 執行役員 カワイ精密金属株式会社 社長
〃	望月 英二	浜松地域イノベーション推進機構次世代自動車センター長 スズキ株式会社 常勤監査役
〃	山本 清二	国立大学法人浜松医科大学 理事(教育・産学連携担当)・副学長
監事	山内 致雄	株式会社電興社 代表取締役社長
〃	中野 純	中野純公認会計士・税理士事務所 所長

退任された理事

	氏 名	勤 務 先 及 び 役 職	退任日
専務理事	増田 洋介	浜松地域イノベーション推進機構	平成 30 年 6 月 28 日
理事	古橋 敏明	一般社団法人静岡県繊維協会 会長	平成 30 年 6 月 28 日
〃	仲野 哲央	中部ガス株式会社 執行役員 浜松支社長	平成 30 年 6 月 28 日
〃	平井 正大	浜松磐田信用金庫 常務理事	平成 30 年 6 月 28 日

3 会議体

(1) 評議員会

① 平成 30 年度 定時評議員会

開催日時 平成 30 年 6 月 28 日(木) 午後 3 時 30 分～午後 4 時 25 分
開催場所 浜松地域イノベーション推進機構 8 階セミナー室
出席者 6 名 第 2 号議案より 8 名(総数 7 名、第 2 号議案より 11 名)
審議事項 報告第 1 号 評議員の辞任について
第 1 号議案 評議員の選任について
第 2 号議案 平成 29 年度 事業報告承認の件
第 3 号議案 平成 29 年度 収支決算承認の件
第 4 号議案 平成 30 年度 収支補正予算承認の件

※終了後、評議員 2 名が退任された。

② 平成 30 年度 臨時評議員会

開催日時 平成 30 年 6 月 28 日(木) 午後 4 時 35 分～午後 4 時 50 分
開催場所 浜松地域イノベーション推進機構 8 階セミナー室
出席者 7 名(総数 9 名)
審議事項 第 1 号議案 評議員の選任について
第 2 号議案 任期満了に伴う理事の選任について

③ 平成 30 年度 第 3 回評議員会

開催日時 平成 30 年 10 月 31 日(水) 午前 10 時 01 分～午前 11 時 19 分
開催場所 浜松地域イノベーション推進機構 8 階セミナー室
出席者 8 名 第 2 号議案より 9 名(総数 11 名、第 2 号議案より 12 名)
審議事項 報告第 1 号 評議員の辞任について
第 1 号議案 評議員の選任について
第 2 号議案 平成 30 年度 収支補正予算承認の件
報告第 2 号 平成 30 年度 上半期の職務執行の状況について

④ 平成 30 年度 第 4 回評議員会

開催日時 平成 31 年 3 月 1 日(金) 午前 9 時 58 分～午前 11 時 8 分
開催場所 浜松地域イノベーション推進機構 8 階セミナー室
出席者 9 名(総数 12 名)
審議事項 第 1 号議案 平成 31 年度事業計画承認の件
第 2 号議案 平成 31 年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込み承認の件
第 3 号議案 規程改定承認の件

⑤ 平成 30 年度 第 5 回評議員会

議決方法 書面決議
議決日 平成 31 年 3 月 28 日(木)
審議事項 報告第 1 号 評議員退任の件
報告第 2 号 理事退任の件
第 1 号議案 理事選任の件

(2) 理 事 会

① 平成 30 年度 定時理事会

開催日時	平成 30 年 6 月 11 日 (月) 午後 3 時 30 分～午後 4 時 30 分
開催場所	浜松地域イノベーション推進機構 8 階セミナー室
出席者	10 名(総数 12 名)
審議事項	第 1 号議案 平成 29 年度 事業報告承認の件 第 2 号議案 特定資産承認の件 第 3 号議案 平成 29 年度 収支決算承認の件 第 4 号議案 平成 30 年度 収支補正予算承認の件 第 5 号議案 規程改正の件 第 6 号議案 平成 30 年度 定時評議員会の日時及び場所並びに 目的である事項等の件 報告第 1 号 評議員の辞任と選任について 報告第 2 号 任期満了に伴う理事の選任について

② 平成 30 年度 第 2 回理事会

議決方法	書面決議
議 決 日	平成 30 年 6 月 28 日 (木)
審議事項	第 1 号議案 代表理事 (理事長) 1 名選定の件 第 2 号議案 専務理事 1 名選定の件

③ 平成 30 年度 第 3 回理事会

開催日時	平成 30 年 10 月 22 日 (月) 午後 3 時 30 分～午後 4 時 27 分
開催場所	浜松地域イノベーション推進機構 8 階セミナー室
出席者	7 名(総数 12 名)
審議事項	第 1 号議案 平成 30 年度収支補正予算承認の件 第 2 号議案 平成 30 年度第 3 回評議員会の日時及び場所並びに 目的である事項等の件 報告第 1 号 平成 30 年度上半期の職務執行の状況について 報告第 2 号 評議員の辞任について

④ 平成 30 年度 第 4 回理事会

開催日時	平成 31 年 2 月 21 日 (木) 午後 3 時 28 分～午後 4 時 31 分
開催場所	浜松地域イノベーション推進機構 8 階セミナー室
出席者	10 名(総数 12 名)
審議事項	第 1 号議案 平成 31 年度 事業計画承認の件 第 2 号議案 平成 31 年度 収支予算、 資金調達及び設備投資の見込み 承認の件 報告第 1 号 規程の改定について 第 3 号議案 平成 30 年度第 4 回評議員会の日時及び場所並びに 目的である事項等の件

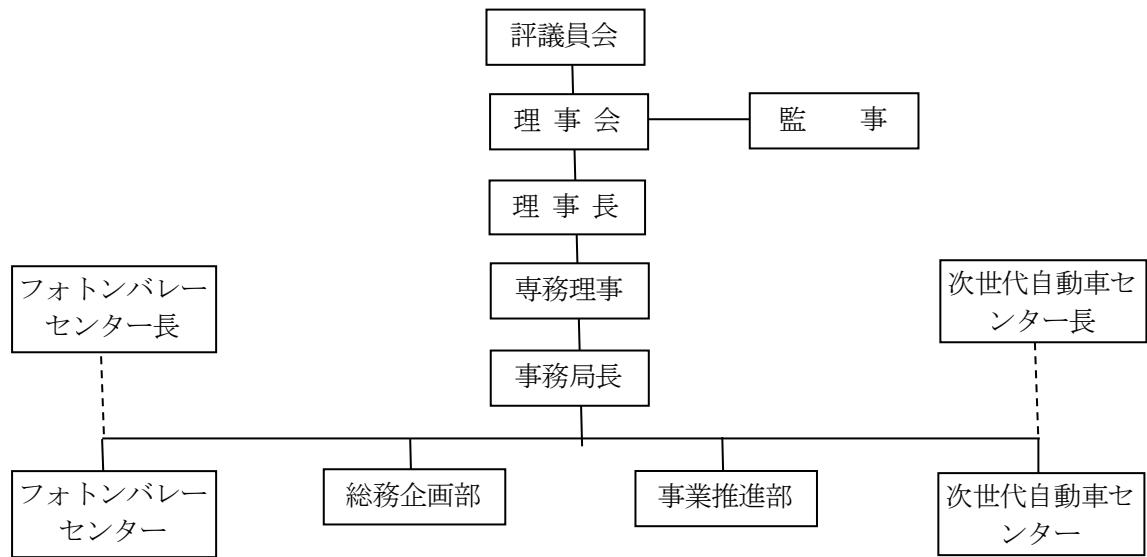
⑤ 平成 30 年度 第 5 回理事会

議決方法	書面決議
議 決 日	平成 31 年 3 月 20 日 (水)
審議事項	第 1 号議案 平成 30 年度第 5 回評議員会の日時及び場所並びに 目的である事項等の件

4 賛助会員

企業名、団体名	役職	代表者名	住 所
株式会社呉竹荘	代表取締役社長	山下 智司	浜松市中区東伊場 1-1-26
グランドホテル浜松	総支配人	石川 仁	浜松市中区東伊場 1-3-1
協同組合テクノランド細江	理事長	山本 純夫	浜松市北区細江町中川 7000-1
株式会社平安コーポレーション	代表取締役	鈴木 通友	浜松市北区新都田 1-5-2
パルステック工業株式会社	代表取締役社長	鈴木 幸博	浜松市北区細江町中川 7000-35
株式会社高井製作所	代表取締役	高井 理恵	浜松市東区有玉南町 1168
エンシュウ株式会社	代表取締役社長	山下 晴央	浜松市南区高塚町 4888
株式会社エヌエスティー	代表取締役社長	服部 貴應	浜松市北区豊岡町 58
中野純公認会計士・税理士事務所	所長	中野 純	磐田市今之浦 4-17-10
株式会社ユニバンス	代表取締役社長	谷 典幸	湖西市鷺津 2418
やまと興業株式会社	代表取締役社長	小杉 昌弘	浜松市浜北区横須賀 1136
株式会社電興社	代表取締役社長	山内 致雄	浜松市南区卸本町 98
東海電子印刷株式会社	代表取締役社長	伊藤 均	浜松市南区若林町 888-122
国本工業株式会社	代表取締役社長	國本 幸孝	浜松市浜北区染地台 6 丁目 3-1

5 事務局体制
〔組 織 図〕



(単位 名)

評議員	12
理事	12
監事	2

事務局長	1
------	---

フォトンバレーセンター(14)	
センター長	1
副センター長	1
コーディネーター	8
職員	3
アルバイト	1

総務企画部(6)	
部長	(1)
グループ長	1
職員	4
アルバイト	1

事業推進部(21)	
部長	1
グループ長	2
兼務	(1)
コーディネーター	7
職員	7
アルバイト	4

次世代自動車センター(8)	
顧問	2
センター長	1
コーディネーター	4
職員	1
兼務	(3)

※常駐：知財総合支援窓口支援員 1名



〒432-8036 浜松市中区東伊場二丁目 7 番 1 号
TEL:053-489-8111 FAX:053-450-2100